令和元年度事業報告

1. 総括

令和元年度は、第2期（令和元年度から令和5年度まで）糸島市地域福祉計画・糸島市地域福祉活動計画（以下、「市地域福祉計画等」）に基づき事業を遂行した。

元号が平成から令和となり、新しい時代が幕を開けるなか、8月に梅雨前線に伴う大雨（九州豪雨）、台風15号、19号による風水害など、全国各地で大規模な自然災害が発生し、甚大な被害となった。

また、令和2年に入り、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、本会においても、地域福祉活動の自粛をはじめ、予定していた事業が中止もしくは延期となった。

社協が相談窓口となり、緊急対応として、3月23日から新型コロナウイルス感染症の発生による休業等に伴う資金需要に対応するために生活福祉資金の特例貸付事業が開始され、令和2年3月末現在、相談36件、貸付24件となっており、日を追うごとに相談者が増えている。

社協事業・活動の推進は、福祉教育や子どもの居場所づくりを中心に、昨年、発足した子ども未来ネットワークや市内の中学校、糸島地区の高等学校と連携した取組をおこなった。

福祉教育では、社会貢献教育プログラム「寄付の教室[®]」を展開し、市内のNPO団体や障がい者事業所などにも協力していただき、より身近に実践的な地域貢献の学びとなり、児童・生徒からも好評を得ている。

子どもの居場所づくりでは、子どもが主体的に考える居場所の開催を目指し、先駆的な取組をされている講師を招聘し、まずは大人の意識を変え、理解を深め、参加者全員で情報共有を図った。

糸島高等学校や糸島農業高等学校の生徒会やボランティア部の協力を得て、ヒアリングやワークショップを開催しながら、二丈深江の古民家「うみかえる」で2回（3回目は新型コロナウイルスの影響で中止）「子どもが主体的に考え運営する居場所」を開催した。

その居場所では、部屋や庭を自由に開放し、参加者それぞれが読書やトランプ、会話など好きなことをおこない、糸高生が即興の演劇を披露したり、糸農生が昼食メニューを考え、食事の提供をするなど、みんなで盛り上げ、良い雰囲気で行われることができた。

また、学校訪問の中では、各校の特色あるボランティア活動がなされており、その生徒同士の交流や学びの場とするため、糸島市我が事丸ごと研究大会において、中高生を主体とした分科会を設定し、開催した。

今後も学校ボランティア活動を応援し、学生ボランティアネットワークの構築へ向けて積極的に取組をおこなっていく。

その他、不登校の問題に対応したフリースクールや子ども食堂など子ども支援も増えており、民生委員・児童委員、主任児童委員研修会や、校区社会福祉協議会学習会で理解を深めた。

(1) 小地域福祉活動の推進

小地域福祉活動の推進では、市地域福祉計画等に基づき、住民が主体となり、ひとり暮らし高齢者等の見守りをはじめ地域の特性を生かした活動を支援した。

その推進役となっている民生委員等の支援では、一斉改選を前に、民生委員等活動への期待から負担が過重なものとなっており、民生委員等活動の負担軽減の方策、主任児童委員を増員するための方策、民生委員等の確保のための方策を民生児童委員会役員とまとめた。

事務局として主体的に実施するものについては、廃止・縮小するなど比較的に容易だったが、行政区・校区、公民館、学校、保育園など、市と市社協以外からの依頼も多く、課題も残った。原則的に本来の活動以外の依頼については、あくまでも強制ではなく、任意であることを確認した。

また、一斉改選では、候補者がまったくみつからなく推薦が難航している行政区もあり、福祉支援課と連携しながら対応し、結果として、福岡県内では定数充足率が90%台のなか、糸島市では、行政区長をはじめ、民生委員・児童委員の役員皆様の尽力により充足率100%を維持することができた。

福祉委員の設置推進では、162行政区（175人）に設置することが出来た。

校区社協の支援では、年2回の校区社協会長・事務局長会議の開催や事務局長会議を1回開催し、連携調整に努めた。

具体的には、波多江校区では、2回目となる認知症声かけ捜索訓練の支援をおこなった他、学習会（地域ささえあい会議の説明が中心）や視察などの支援調整をした。

行政区単位の福祉会の設置推進では、2年目の池田南行政区や二丈深江校区の白浜町行政区でも行政区長、民生委員からの相談があり、小地域ネットワーク福祉会や自主防災組織の考え方をお伝えし、年度末に、日頃からの見守り活動と防災活動を重ね、独自の防災班会議や防災カードの作成、見守り協力員の選任などを盛り込んだマニュアルが策定された。

（2）新しい地域包括支援体制（総合相談支援体制）の推進

本会が目指す地域の総合相談・生活支援体制の構築へ向け、福祉まるごと相談員（CSW）は、地域における見守り活動等による支援と専門的な相談支援機関による支援の相乗効果により「つながり続ける」ことを意識して対応し、相談件数56件（解決件数46件/連携件数35件）となった。

相談者は、本人・家族が33件、地域包括支援センター等の関係機関が12件、地域の担い手（民生委員児童委員、福祉委員等）が11件と、本人からだけではなく、施設職員や他相談機関からの問合せや相談が増えた。

相談内容では、市社協への相談は初めてでも、市役所や県の相談機関等、同じ内容を数箇所に相談をしている方も多く、関係機関と情報共有を図ることの重要性を確認した。

特に、地域ケア会議、地域ささえあい会議、子ども未来ネットワーク、学校とのボランティア連絡会など住民が主体的に課題の把握や解決するための会議へ積極的に参加し、情報共有を図った。

また、より身近な相談窓口として、各校区の社協広報紙で掲載していただき、「福祉まるごと出張相談会」を15公民館で開催したが、結果、利用者は少なく、地域

の人が出入りする公民館での難しさ、情報が行き届かない人・世帯への周知の難しさも感じた。

その他、新しく受託した生活困窮者自立支援事業も初年度ということもあり、市役所との連携を図りながら事業の遂行に努めた。

(3) ICTによる情報発信「ふくしが よかところ いとしまアプリ」の活用

携帯電話からダウンロードして活用していただくアプリケーションソフト「ふくしが よかところ いとしまアプリ」では、主に本会講座の参加者募集や子ども食堂などのイベント情報の発信、災害情報や新型コロナの特例貸付情報を迅速に提供した。

一方、アプリダウンロード数 481 件と想定していたよりも低く、将来的に多くの方に福祉の情報や地域のイベント情報を届ける以外にも、自然災害や感染症などの非常時においても、本会からの情報発信、携帯電話による情報共有の仕組みが極めて有効なことから、引き続きスマートフォン利用率が高い若い世代への周知をはじめ、見守り関係者への登録活用を促す必要がある。

(4) 地域包括ケアシステムの深化・推進

地域包括ケアシステムの深化・推進では、各圏域で開催されている地域ケア会議に参加し、それぞれの地域課題の把握に努め、地域包括支援センターと連携・協働しながら課題解決に努めた。

地域力強化推進事業と生活支援体制整備事業の共通目標として、小学校区単位で、住民が主体的に地域のことや、高齢者等の生活福祉課題を話し合える場（地域ささえあい会議）の開催を推進し、校区の行政区長会をはじめ、各校区社協の学習会や役員会等で議論を重ねた。

地域の力を結集する場である「地域ささえあい会議」では、各校区で 54 回の打ち合わせや準備会、地域ささえあい会議を開催し、市民との合意形成に努めた。

その結果、14 校区で具体的な場を開催することができ、残り 1 校区では、校区社協の会則に会議を位置づけ、次年度開催の運びとなった。

担い手の養成では、サポーター登録も 176 人となり、高齢者の見守り訪問や

生活支援をおこなった。実績としては、利用者13人で、その内訳は、買い物3回、ゴミ出し162回、その他1回、見守りのみが99回だった。

その他では、一緒に草取りをする「コミュニケーション草取り」やコタツやストーブなど家具の出し入れをする「季節家電等の入れ替え作業」を新規メニューとして増やした。

今後も推進員やサポーターの意見を集約しながら、サービス提供のみを目的とするのではなく、介護予防とつながりを意識したメニューを増やしていく。

「高齢者にやさしい生活サポート情報誌」では、高齢者支援に関わる支援機関や事業所、民生委員などへ配布し、好評を得た。

また、ダイジェスト版に「ペット関係」の項目を追加し、更新・修正・調査を実施した。

(5) ボランティア活動・福祉教育の充実

ボランティアセンターでは、糸島市社協ボランティア連絡協議会（32 団体 450 人）と一体となって、ボランティア活動の充実を図った。

10回目を迎えたボランティア福祉まつり「いとしまわいわいフェスタ2019」は、「みんなにとどけ やさしさの風」をテーマに開催した。本年度の特別企画「糸島秘宝帖」は、九州大学サークルの謎解き Quest（クエスト）が企画し、会場内に様々なクイズを設置し、親子連れに大変好評だった。中学生・高校生のボランティア協力が例年より多く、福祉やボランティアについて身近に感じてもらう貴重な機会となった。

ボランティア活動に関する対応件数は41件。そのうち、ボランティア依頼数は、福祉施設や個人を含めて26件で、活動希望者数は中学生、高校生、大学生や外国人留学生を含めた15件であった。特に今年度は市広報に「朗読ボランティア」の掲載があり、個人からの問い合わせが多かった。

7月には、高齢者、障がい者支援施設等職員を対象とした「ボランティア受け入れ講座」を開催し、市内外から15名の参加があった。例年、施設からの依頼として、敬老会等でステージ披露や、普段の趣味活動で利用者と交流できる個人

や団体を希望されることが多いため、施設の職員体制の確認や依頼に関する基本的な流れについて説明をした。

ボランティアセンター同士の連携強化を目的として、市直営の「糸島市 NPO・ボランティアセンターこらぼ糸島」、「糸島ボランティア派遣事業事務局」と市社協でボランティア情報の一元化会議を年3回開催した。令和2年度からはボランティア登録カードを統一し、引き続きボランティア登録情報の一元化を進めていくことを決定した。

(6) 安定した介護保険等事業の運営

安定した介護保険法事業、障害者総合支援事業の運営を維持するため、収支改善プロジェクトの一環で、管理者会議を開催し、経営事業の収入増、支出減に対する改善策を下記のとおり検討した。

- ①利用者確保の具体的な取組
- ②職員確保の具体的な取組
- ③人件費、事業費に係る経費等改善策
- ④経営事業の見直し（統合、継続、廃止、創出）

経営事業の安定した収入を維持するための課題は山積しているが、各事業所の管理者が集まり、①から④までを集中的に協議し、収支改善提案に盛り込んだ。

特に、各事業所の共通した課題としては、介護サービスを提供する人材が揃わないため、新規利用者に対応することができず、機会損失だけが続き、収入増につながらない現状がある。

本会では、まず専門性のある福祉・介護人材を段階的に確保するための総合的な人材確保計画が求められており、各管理者と一体となって作成していく他、営業時間やサービス提供時間を短縮し、記録事務の軽減を図るなどの効率化を一層推進することで、働きやすい環境の整備も並行して改善しなければならない。

そして、介護保険等事業は、国の施策に左右されるため、引き続き利用者の自立支援や重度化防止につながるリハビリ重視型の通所介護の推進や中重度の要介護者向けの定期巡回随時対応型訪問介護看護事業と一体となった訪問介護事

業所の体制を構築するとともに、軽度者向けの生活支援・総合支援事業を地域住民が主体となって一緒に行える仕組みの検討をしていく必要がある。

(7) 財政運営の適正化

平成 30 年度の一般会計資金収支決算が▲3,308 万円となり 3 期連続の赤字になったことを受け、「市社協収支改善プロジェクトチーム」を設置し、その収支バランスを改善するための具体的な改善計画を作成した。

そして、役職員一体となって、計画に基づき職員給与、経費の削減による支出など収支改善の取組を遂行した結果、収支均衡を保つことができた。

令和元年度の一般会計資金収支決算は、事業活動による収入 8 億 611 万円、事業活動による支出 8 億 658 万円で、事業活動資金収支差額マイナス 47 万円となり、その他の活動による支出 102 万円を含めた当期資金収支差額はマイナス 149 万円となった。

収入の内訳では、会費（地域ささえあい費、賛助会費など）、寄付金の自主財源収入 589 万円（0.7%）、共同募金配分金収入 1,095 万円（1.4%）、市補助金 6,054 万円（7.5%）、受託金（利用料含む）が 2 億 2,072 万円（27.4%）、介護保険事業等の社会福祉事業収入（利用料を含む）5 億 244 万円（62.3%）、その他のボランティア活動保険助成金、福祉金庫償還金、実習受入謝礼等収入が 557 万円（0.7%）であった。

支出の内訳は、人件費支出 5 億 2,164 万円（64.6%）、事業費支出 1 億 2,377 万円（15.5%）、事務費支出 1 億 3,726 万円（16.9%）、助成金支出 2,314 万円（2.9%）、その他、福祉金庫貸付金 74 万円（0.1%）、負担金支出 3 万円であった。

収入では、前年度と比較して 3,149 万円増加し、支出では、311 万円の増加となり、当期資金収支差額は、前年度のマイナス 3,308 万円からマイナス 149 万円まで改善することができた。

要因としては、収支改善提案に基づき給与の削減をはじめ、人件費に係る経費の抑制や事務費の見直しを図ったことと、生活困窮者自立相談支援事業に職員の

配置転換することで人件費支出の圧縮を図ったことが大きい。

また、経営事業所も収入が大幅に減少した事業所はなく、全体的に前年度並みに維持するほか、生活介護事業所ひまわりや志摩・二丈ヘルパーステーションでは、収入が伸びた結果となった。

(8) 生活困窮者支援・権利擁護の充実

受託初年度の生活困窮者自立相談支援事業では、庁舎内連携からつながった相談者に加え、社協の貸付担当からの相談や、民生委員からの紹介など、少しずつ増え、新規相談件数、プラン作成件数において前年度実績を上回ることができた。

また、プラン作成では、相談者に寄り添っていけるような支援に努め、家計改善支援事業や就労準備支援事業との連携を図りながら支援をしている。

課題としては、家族からひきこもり等の相談を受けてもなかなか本人の支援につながらないことが上げられ、今後は、市社協が受託している地域力強化推進事業、障害相談などと情報共有を図り、社協内連携に努めていきたい。

「経済的困窮」の食糧支援では、フードバンク糸島Happinessと連携しながら、市役所と市社協の窓口で対応、配布件数は延べ43件あった。

ふくおかライフレスキュー事業では、糸島市内の社会福祉法人が連携をして糸島地区連絡会を開催して、相談支援を行った。(支援件数2件)

また、セブンイレブンからの商品や市内事業所などからの寄贈については、困窮者配布用と連絡会に連絡調整し、施設へ配布をおこなった。

2. 法人関係

(1) 理事会・評議員会の開催 理事会5回 評議員会3回 監査1回

【理事会】(定数10人)

開催月日	出席	議案事項
第1回理事会 (令和元.6.4)	7人 監事2人	1 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会平成30年度事業報告について 2 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会平成30年度決算及び監査報告について 3 任期満了に伴う糸島市社会福祉協議会理事・評議員候補者の推薦について 4 定時評議員会日時・場所及び議題等について 5 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 6 任期満了に伴う社会福祉法人糸島市社会福祉協議会苦情解決第三者委員の選任について 7 糸島市社会福祉協議会デイサービスセンターそれいゆ生活介護(共生型)及びデイサービス「福寿苑」生活介護(共生型)運営規程の制定について 8 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について
第2回理事会 (令和元.6.19)	10人 監事1人	9 会長、副会長の選任について
第3回理事会 (令和元.9.17)	9人 監事2人	10 糸島市市民後見人推進事業の受託について 11 福岡県日常生活自立支援事業の受託について 12 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償等に関する規程の一部改正について 13 令和元年度第1次補正予算について 14 令和元年度第2回評議員会の日時・場所及び議題等について
第4回理事会 (令和2.1.29)	10人 監事2人	15 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
第5回理事会 (令和2.3.19)	8人 監事1人	16 糸島市社会福祉協議会デイサービスセンターそれいゆ及びそれいゆ生活介護(共生型)並びに糸島市介護予防・日常生活支援総合事業生きがいデイ教室及び基準該当生活介護サービス事業の運営規程の一部改正について 17 令和元年度第2次補正予算について 18 令和2年度事業計画について 19 令和2年度資金収支予算について 20 令和元年度第3回評議員会の日時・場所及び議題等について 21 糸島市前原東地域包括支援センター運営規程の廃止及び糸島市基幹型地域包括支援センター運営規程の制定について 22 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について

【監査】(定数2人)

開催月日	出席	議案事項
令和元.5.22	2人	決算監査 平成30年度事業及び会計状況の監査

【評議員会】(定数21人)

開催月日	出席	議案事項
第1回評議員会 (定時評議員会) (令和元.6.19)	20人	1 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会平成30年度事業報告について 2 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会平成30年度決算及び監査報告について 3 任期満了に伴う社会福祉法人糸島市社会福祉協議会理事・監事の選任について
第2回評議員会 (令和元.9.26)	18人	4 糸島市市民後見人推進事業の受託について 5 福岡県日常生活自立支援事業の受託について 6 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償等に関する規程の一部改正について 7 令和元年度第1次補正予算について
第3回評議員会 (書面表決) 新型コロナウイルス感染症対策	20人	8 令和元年度第2次補正予算について 9 令和2年度事業計画について 10 令和2年度資金収支予算について

(2) 会費

・会費収入 3,224,688円 (参考:平成30年度3,193,170円)

①一般(地域ささえあい費) 23,586口 2,358,688円 ②賛助会費 756口 756,000円

③特別会費 20口 110,000円

(一般100円 賛助1,000円 特別5,000円)

区分	金額		
	参考(30年度)	参考(29年度)	参考(28年度)
一般(ささえあい費)	2,346,170円	2,311,785円	2,299,850円
賛助会費	747,000円	748,000円	753,000円
特別会費	100,000円	100,000円	90,000円

(3) 寄付金

◆寄付金については、厳しい状況が続いている。共同募金・寄付金等のファンドレイジング(資金集め)の研究と併せて寄付文化の醸成についても研究調査をおこなう。

・寄付金収入

96件	2,661,103円
香典返し 76件	2,080,000円
初盆返し 1件	10,000円
一般寄付 16件	571,103円

区分	参考（30年度）		参考（29年度）		参考（28年度）	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
香典返し	79件	1,953,000円	98件	2,520,000円	136件	3,125,000円
初盆返し	3件	100,000円	3件	70,000円	1件	20,000円
一般寄付	16件	882,810円	23件	566,290円	22件	459,508円

（４）会議及び社協職員研修

- ・課長会議 13回開催 ・衛生委員会 12回開催
- ・人権学習 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
- ・糸島市人権・同和研究大会に参加（8/24）
- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練 8月30日に前原東中学校と糸島JCと合同開催の予定が台風で中止
- ・災害ボランティア連絡会 1回開催（4/18）

3. 住民参加による小地域福祉活動事業

（１）校区社会福祉協議会の活動助成と連携

校区名	主な事業内容	令和元年度 バス利用先
波多江	理事会、会計監査、総会、理事勉強会、視察研修、認知症「搜索」「声かけ」訓練 広報委員会、福祉だより「福祉の窓」発行（年/3回）、ふれあい弁当配付（年/2回） ふれあい会（一人暮らし高齢者のつどい）、ふれあい事業（お茶・餅配布による見守り/4回）、ママといたずらキッズ（子育て支援/7回）、役員会（月1回）	福岡市動物園 （雨天中止）
東風	理事会、会計監査、総会、視察研修、理事勉強会 福祉だより「福祉の羽衣」発行（年4回）、ふれあい弁当配布（年1回）、ふれあい餅配付（年1回）、75歳以上高齢者世帯訪問週間（年3回）、ひとり暮らしふれあいの集い、七夕会、はるかぜキッズ（子育て支援/年7回）、役員会（月1回）、合同委員会（年3回）、九州大学留学生との交流、文化祭、昔遊び	①せき損センター ②福岡市動植物園
前原	理事会、会計監査、総会、視察研修、広報委員会、福祉だより発行（年3回）、講演会（高齢者セミナーとの共催）、小地域福祉活動研修会、校区社協研修会、前原ふれ愛の会（一人暮らし高齢者の集い）、すまいる広場（子育て支援/年12回）、民生委員・福祉委員合同会議（年3回）、ひとり暮らし高齢者見守り事業（ごみ袋・誕生日のお菓子等訪問配付等/4回）、行政区サロン対抗ダーツ大会、前原・怡土校区社協ダーツ大会、役員会（年3回）	①福岡空港 ②大刀洗町社会福祉協議会
前原南	役員会、会計監査、総会、地域支えあい会議設置・推進、視察研修、講演会 福祉だより「南天」発行（年4回）、南天の集い（一人暮らし高齢者のつどい） 福祉賛助会への寄付依頼とお礼（全戸文書配布）、一人暮らし高齢者定期巡回（年6回）と定期訪問（年3回）、障がい者交流文化祭「福祉もちつき」、障がい者福祉交流バスハイク、ちびっこみなみ（子育て支援/月2回）、子どももちつき体験会 関連団体事業への協力	①如意輪寺・大刀洗平和記念館 ②トヨタ自動車九州工場
南風	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議（年2回）、地域福祉施設視察研修 社協だより発行（年3回）、ふれあい旅行（一人暮らし高齢者のつどい）、助成団体代表者会議、認知症サポーター養成講座、高齢者訪問（75歳以上対象・年2回）、ふれあい訪問（75歳以上一人暮らし対象・年2回）、歳末見守り訪問、ひまわりの会（子育て支援）、校区社協団体学習・交流会、笑顔写真撮影会、新生児赤ちゃん訪問、民生児童委員・福祉委員合同会議、高齢者訪問月間	①師吉荘・レストランゆずのき ②マリンワールド海の中道・福岡エフェクト

加布里	理事会、会計監査、総会、校区民児協会議、視察研修、民生委員・福祉委員合同会議、福祉だより「道しるべ」発行（年4回）、ふれあい訪問一人暮らし高齢者見守り活動（年4回）、のぞみの会（一人暮らし高齢者の集い）、シニアクラブとの懇談会、小地域ネットワーク交流会、子どもふれあい教室（子育て支援/年6回）、ふるさと文化祭参加、福祉団体の活動支援	①マルタイ福岡工場 ②筑後船小屋公園の宿
長 糸	理事会、会計監査、総会、理事・福祉協力員研修会及び視察研修 校区社協だより発行（年2回）、見守り訪問「弁当」の日（年3回）、高齢者訪問話し合い活動（高齢者長期入院及び家庭での長期療養者見舞、高齢者訪問）、移動スーパー「いと丸くん」、一人暮らし高齢者と協力者のつどい、いこいの家に来てみません会（年12回）、自主運行バスあじさい号男性料理教室・高齢者教室（公民館共催）、団体助成、安心ネット長糸	南区の堤カフェ視察（台風中止）
雷 山	理事会、会計監査、総会、合同会議、福祉委員会、民生委員・福祉委員合同会議、視察研修、福祉だより発行（年3回）、にじの会愛のふれあい配付活動（年3回） 単身高齢者の会「にじの会・食事会」、ふれあい訪問活動月間（一人暮らし・二人暮らし高齢者・心配家庭等訪問）、介護予防講習会、健康講話、男性料理教室、にこにこ広場（子育て支援）、広報委員会、五者会議、広報委員会 施設訪問	野の花学園・友泉亭公園
怡 土	理事会、会計監査、総会、民生委員・福祉委員研修会、視察研修 いきいきサロン代表者会、ふれあい茶話会（一人暮らし高齢者のつどい） 社協だより発行（年3回）、校区文化祭参加、絵本のもりもり、小学校との懇談会、やよい活動（高齢者訪問/年3回）、いとキッズ（年25回）、団体助成 男性の料理教室（4回）、サロン活動支援グッズ・卓球バレー大会 怡土小学校との懇談会、前原東中学校との交流会	
一貴山	理事会、会計監査、総会、視察研修、男性料理教室、研修会 福祉だより発行（年3回）、ふれあい事業（高齢者見守り弁当配付/3回） ふれあい会（一人暮らし高齢者のつどい）、いきいき一貴山お楽しみ会（高齢者のつどい）、子育て支援事業、サロン支援者交流会、高齢者見守り事業	①福岡市社会福祉協議会 ②高齢者の集い送迎
深 江	役員会、会計監査、総会、役員・評議員視察研修、高齢者講座 ふれあいバスハイク、一人暮らし高齢者お楽しみ会、高齢者見守り活動、 広報発行「ほっとタイム深江」（年3回）、グラウンドゴルフ大会、 あったかコンサート（公民館共催）、福祉委員・民生委員交流会、視察研修	①仙寿苑 ②博多港ベイサイドプレイス
福 吉	理事会、会計監査、総会、視察研修、役員会、理事・福祉委員合同研修会 社協だより発行（年3回）、高齢者お楽しみ会、ふれあい弁当配付（年3回） ふれ愛の会（一人暮らし高齢者のつどい）、高齢者講座、子育て支援事業 校区グラウンドゴルフ大会、ふれあいコンサート、地域ささえあい会議	①おおき循環センターくるるん・朝倉被災地視察 ②高齢者お楽しみ会送迎
可 也	理事会、会計監査、総会、視察研修、広報誌発行（年3回）、 一人暮らし高齢者見守り活動物品等配付（年3回） 川辺の里（一人暮らし高齢者のつどい）、民協・福祉委員研修会 校区文化祭での啓発活動、地域ささえあい会議準備会	①福岡県児童相談所 ②柿狩り・純正（京料理）

引 津	役員会、会計監査、総会、視察研修、役員会 広報発行（年3回）、一人暮らし高齢者見守り訪問（年3回） おたのしみ会（一人暮らし高齢者のつどい）、 ゴキブリ団子づくり及び一人暮らし高齢者への配布（引津小との連携事業） チャイルド広場（子育て支援）、購入備品の活用	介護付き有料老人ホーム「アクラス五条」
桜 野	理事会、会計監査、総会、視察研修 広報誌「愛・さくらの」発行（年4回）、「愛のしあわせ弁当」配布事業（年3回） 一人暮らし高齢者と桜野小児童との交流会、文化祭・芸能祭参加 一人暮らし高齢者見守り配布 異文化交流もちつき大会と一人暮らし高齢者もちの配布 高齢者元気ふれあい事業「桜野校区新種運芸能・のど自慢大会」 一人暮らし高齢者の集い事業、校区文化祭参加	①若楠療育園 ②博多新劇座

（2）校区社会福祉協議会会長・事務局長会議の開催

会長・局長会議 2回開催（6/21、2/4）
事務局長会議 1回開催（1/22）

（3）小地域ネットワーク福祉会の活動支援と連携

◆二丈白浜町行政区での見守り活動や災害時支援の機運が高まり、日頃からの見守り活動と防災活動を重ね、独自の防災班会議や防災カードの作成、見守り協力員の選任などを盛り込んだマニュアルを策定された。（今後、福祉会設置を勧めていく。）

- ①松隈福祉会 ②初福祉会 ③富士見ヶ丘福祉会 ④師吉団地福祉会
⑤大浦台福祉会 ⑥大石福祉会 ⑦稲葉福祉会 ⑧師吉福祉会 ⑨桜井東福祉会
⑩大町福祉会 ⑪御床福祉会 ⑫東貝塚福祉会 ⑬西貝塚福祉会 ⑭香月福祉会
⑮芥屋福祉会 ⑯神在三区福祉会 ⑰東蔵持福祉会 ⑱老松町福祉会
⑲池田南福祉会

（4）小地域ネットワーク福祉会代表者会議の開催

◆福祉会の活動や助成金支出のあり方について、検討した結果、計画書・報告書の様式について簡素化することとなった。

1回開催 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（5）見守り台帳の整備と支援態勢づくり

◆見守り台帳の取組では、平常時における要援護者への見守り及び集中豪雨や地震などの自然災害発生時の見守り支援態勢づくりの構築を推進。

新たに65歳以上のひとり暮らし高齢者や、65歳以上の高齢者のみで構成される世帯、また障がいがある方は、市役所で台帳登録を希望される方を対象に新規調査を実施した。新規調査対象者は1,298人の中、413人が新たに登録をされ、登録者数は7,177人となった。

校区別対象者集計（令和2年3月末現在）

	独居高齢者	高齢者のみ	同居高齢者	障がい者	その他	計
波多江	170人	272人	89人	59人	0人	590人
東風	114人	158人	70人	27人	0人	369人
前原	225人	358人	108人	72人	0人	763人
前原南	172人	166人	73人	43人	0人	454人
南風	54人	197人	41人	32人	2人	326人
加布里	189人	364人	116人	50人	0人	719人
長糸	42人	112人	42人	19人	0人	215人
雷山	80人	165人	47人	28人	0人	320人
怡土	155人	460人	147人	56人	0人	818人
一貴山	101人	198人	90人	19人	1人	409人
深江	163人	261人	162人	38人	2人	626人
福吉	112人	229人	88人	23人	1人	453人
可也	120人	182人	142人	44人	5人	493人
桜野	43人	42人	63人	25人	1人	174人
引津	104人	131人	171人	39人	3人	448人
計	1,844人	3,295人	1,449人	574人	15人	7,177人

(6) 福祉委員への支援

◆民生・児童委員と連携し、地域福祉の推進役として各行政区に福祉委員を設置。

162行政区 175人に委嘱した（設置率99.4%）

①福祉委員全員研修

日 時：平成31年4月12日（金）

研修内容：「我が事丸ごと地域共生社会づくり事業について」「福祉委員について」
「ボランティア保険について」

参加者：157人（前原地区87人、二丈地区34人、志摩地区37人）

②福祉委員代表者会（4/12）

(7) 糸島市民生委員児童委員へ支援

①役員並びに定例会の開催

役員会 年 6回 偶数月第1週の金曜日

前原地区 年 12回 毎月 第3週の水曜日（前原地区役員会年4回）

二丈地区 年 12回 毎月 第3週目の木曜日

志摩地区 年 12回 毎月 第3週目の水曜日

②全体研修会及び各地区研修会の開催

◎全体研修

月日	参加人数	講師	研修内容
10/16	160人	NPO 法人産の森学舎 理事長/小学部校長 大松 康 氏	「NPO 法人産の森学舎(フリースクール)」について

◎前原地区

月日	参加人数	講師	研修内容
7/17	93人	糸島警察署	交通安全講習
9/18	94人	市社協 介護福祉課	介護保険と介護サービスについて
1/15	98人	市社協 経営管理課	見守り台帳について

◎二丈地区

月日	参加人数	講師	研修内容
5/16	31人	糸島市消防本部	救急救命講習(心肺蘇生・AEDの使い方)
6/20	31人	市社協 地域課	我が事丸ごと地域共生社会づくり事業について
7/18	30人	佐賀整肢学園 唐津医療福祉センター	佐賀整肢学園・唐津医療福祉センターについて
8/8	31人	糸島市役所 国保年金課	後期高齢者医療制度ってどんなしくみ?
9/19	30人	DVD 使用	事例学習会
1/16	33人	再任民生委員 12名、校区社協事務局長	再任民生委員の体験報告 校区社会福祉協議会の活動について
2/20	33人	市社協 地域課	活動記録について 民生委員活動中の保険について

◎志摩地区

月日	参加人数	講師	研修内容
5/15	36人	市社協 経営管理課	ふくおかライフレスキュー事業について
6/20	32人	特別養護老人ホーム「扇寿荘」	特別養護老人ホーム「扇寿荘」について
9/18	34人	福岡県糸島保健福祉事務所 健康増進課精神保健係	アルコール依存症について
2/12	32人	福岡県福祉労働部児童家庭課	児童虐待の現状と取組について

(8) 社協出前講座（糸島市出前講座）への職員派遣

◆市役所の生涯学習情報誌に掲載している出前講座 延べ5回開催

内容

No.1 地域福祉ってなあに？ No.2 地域の福祉力を高める住民講座

No.3 ご存知ですか？あなたのまちの民生委員・児童委員

No.4 家庭介護教室 No.5 福祉教育 No.6 社会貢献教育「寄付の教室」

No.7 社会貢献教育「寄付の教室～応用～」 No.8その他

月	日	時間	講座No.	団体名	場所	人数
5	16	13時30～15時	2	人権・同和指導員研修	人権センター	20
6	17	14時～15時30分	1	糸島市民自由共創大学	はつらつ館	6
6	28	19時～20時	8	雷山校区5者会議	雷山公民館	35
7	2	19時30分～20時30分	8	糸島手話の会	あごら	30
2	20	14時～15時	8	加布里高齢者教室	加布里公民館	50

4. ボランティアセンター事業

◆ボランティア活動に関する相談、情報提供、コーディネートなど個別の活動支援を行うとともに、ボランティア福祉まつりやボランティア入門講座の企画運営については、糸島市社会福祉協議会ボランティア連絡協議会と共催でおこなった。

No.	項目	内容
1	ボランティア活動支援	<p>ボランティア活動に関する相談、情報提供、コーディネートなど活動支援</p> <p>①令和元年度 ボランティアセンター登録者数 2,621 人 内訳 1 ボランティアセンター個人登録者 96 人 2 社協ボランティア連絡協議会 32 団体 450 人 3 その他団体・個人 56 団体・個人 2,075 人 (※ボランティア活動保険の実績数換算による)</p> <p>②ボランティア活動に関する対応件数 41 件 内訳 ボランティア依頼者数26件、活動希望者数15件</p>
2	ボランティア活動保険の助成	<p>①令和元年度保険全額助成 34 団体・個人 703 人 内訳 ボランティア連絡協議会 32 団体、福祉委員会 地域ささえあいサポーター、糸島青年会議所</p>
3	ボランティア団体への助成	<p>①運営助成(上限3万円) 28 団体 850,000 円 ◆地域福祉の推進のためのボランティア団体運営経費を助成</p> <p>②備品助成(上限5万円) 5 団体 237,302 円 ◆団体の活動に必要な具体的な備品や消耗品を上限5万まで助成 対象団体：おもちゃ図書館いとっ子、ジネスボランティア、ミントの会、 要約筆記の会いとしま、朗読ボランティアせせらぎ</p> <p>③事業助成(上限5万円) 2 団体 100,000 円 ◆研修会・講演会等市民向けの事業の開催費、または調査・研究事業の実施費を 上限5万まで助成 対象団体：糸島在宅ホスピスボランティア「ヴィオラ」、手をつなぐ市民の集い</p>

糸島市社協ボランティア連絡協議会事業

No.	項目	開催日	内容	参加人数
1	ボラ連役員会	第1回役員会 期日：7月3日(水) 場所：あごら	①糸島市福祉大会の表彰団体の推薦について ②全体交流会の内容について	7人
		第2回役員会 期日：3月18日(水) 場所：あごら	①令和元年度事業について ②令和2年度事業計画について	7人
2	ボラ連代表者会	社協ボラ連代表者会 期日：4月13日(土) 場所：あごら	①平成30年度事業報告について ②令和元年度事業計画について ③部会別会議	24人
3	ボラ連交流会	全体交流会 期日：11月30日(土) 場所：あごら	所属団体のステージ(ブラックシアター・朗読劇)、J-ヒール・お茶の淹れ方講座	51人

		ボラ連 全体研修 期日：2月16日(日) 場所：春日クローバープラザ	ふくおか“きずな”フェスティバル 講演及び活動別分科会	22人
4	2019 ボランティア・ 福祉まつりの準備	第5回わいわいフェス実行委員会 期日：4月19日(金) 場所：あごら	①総合部門、ステージ部門、屋内・ 屋外部門の詳細協議 ②当日の流れについて	15人
		第6回わいわいフェス実行委員会 反省会 期日：6月13日(水) 場所：あごら	①わいわいフェスタの総括 ②来年度に向けた意見交換など	12人
5	糸島わいわい フェスタ 2019 (ボランティア・ 福祉まつり)	テーマ：「みんなにとどけ やさしさの風」 期日：5月12日(日) 場所：ふれあい、プロムナードなど	市内で活動するボランティア団体 等が、各団体の活動を活かした内容 で、誰もが楽しく参加でき、糸島市 のボランティア・福祉活動の活性化 を図る目的に開催	2,000 人程度
6	2020 いとしま Fun の準備	第1回いとしま Fun 実行委員会 期日：12月13日(金) 場所：あごら	①委員長、副委員長選出及びスケジ ュール ②企画説明 ほか	12人
		第2回いとしま Fun 実行委員会 期日：1月9日(木) 場所：あごら	企画、出店団体について	10人
		第3回いとしま Fun 実行委員会 期日：2月13日(木) 場所：あごら	企画、出店団体・個人について チラシについて	12人

糸島市社協ボランティアセンター事業

No.	項目	開催日	内容	人数
1	市民向け講座	施設向けボランティア受入れ講座 期日：7月31日(水) 場所：あごら	施設の職員向けにボランティアの紹介 や、施設側の受け入れ体制についてなど を説明、現状についてのワークショップ ●ミントの会、福寿の会、いとの会代表 参加	15名
		(今年度中止) 災害ボランティアセンター設置運営訓練 期日：8月30日(金)	実際に災害ボラセンが立ち上がった際 の受付手順や全体の流れを確認	
		いとぶり講座(SNSを使った情報発信・ 情報共有について) 期日：9月5日(土) 場所：あごら	ボランティア情報の無料アプリを作成。 校区公民館、市運営のボランティアセン ター職員が対象。ボランティアや地域の イベント情報についての発信の方法に ついて学ぶ講座	13人
		子ども・障がい者部会企画 赤木かん子さんのみんなが読める本講座 期日：9月24日(土) 場所：あごら	学習障害と呼ばれる読み書きが苦手な 方でも理解しやすいLLブックや文房 具についての紹介	81人
		ホワイトボードミーティング講座 期日：1月25日(土) 場所：あごら	団体の定例会等で短時間かつ効率的な 会議を進めるために活用できる手法を 学ぶ講座	15人
2	視察受け入れ	おおのじょうボランティアセンター 期日：1月7日(火) 場所：あごら	糸島市ボランティアセンターの取り組 みの説明および意見交換	13人

3	ボランティア フォローアップ	聞き書きおさらい会 期日：4月23日(火) 5月30日(木) 7月19日(金) 9月20日(金) 11月15日(金) 1月22日(金) 3月18日(水) 場所：あごら	昨年度実施した聞き書き講座の受講生のフォローアップを行う。 参加者同士で聞き書きを行い、作品を見せ合うことでコツを学ぶ。	
4	福祉教育	ふくし体験スクール 期日：8月1日(水) 8月2日(木) 場所：あごらほか	小学5、6年生を対象に福祉の心を育てるために開催 内容/手話学習会、寄付の教室、防災センター見学、居場所ワークショップ	延べ 38人
		波多江小学校 10月3日(火) 東風小学校 10月11日(金) 11月15日(金) 1月29日(水) 2月5日(水) 2月7日(金) 雷山小学校 1月30日(木) 前原西中学校 9月13日(金)	寄付の教室 民生委員児童委員について 高齢者福祉について 車いすの生活について 地域共生社会について など	

5. 高齢者福祉事業

(1) 家族会（在宅介護者の会）活動支援

◆在宅で介護をされている方とその家族等が集い、情報交換や悩みを語ることにより心理的、身体的なストレスの軽減を図ることを目的に組織化。各地区の家族会で学習会の開催やバスハイク行事などの他、3地区合同交流会を開催。

合同交流会（12/11） 参加者21人

合同研修会（7/5） 参加者24人

- ・「癒しの会」 活動日/2ヵ月に1回 場所/あごら
- ・「楽笑」 活動日/3ヵ月に1回 場所/二丈苑
- ・「あすなろの会」 活動日/毎月第3木曜日に開催 場所/ふれあい

(2) 系島市シニアクラブ連合会への活動支援及び助成

◆グランドゴルフ・ペタンク大会 曾根グランド 200人参加（10/17）

6. 障がい児（者）福祉事業

(1) “きょうだいのつどい” 障がい児（者）ふれあい交流事業

◆障がい児のきょうだい支援に関心がある方が少ない中で、新しい顔ぶれを含め多くの保護者が参加されたことは大変良かった。

きょうだい児支援、家族支援の第一人者である遠矢先生の話は、初めてでしたが、きょうだい児の多くが、プラスの経験をしながら成長していく一方で、さまざまな思いを抱え、支援を必要としているこどもたちも少なくないことを事例で説明され、保護者にわかりやすかった一方、民生委員にとっては、難しい話だったとの感想も聞いた。

第1回きょうだいの集い

日時 令和元年11月8日(金)

場所 市健康福祉センターあごら 視聴覚室

内容 遠矢浩一氏の講演会(九州大学大学院人間環境学研究院)

参加者 31名

第2回きょうだいの集い

日時 令和元年11月30日(土)

場所 市健康福祉センターあごら 2階ふれあい交流室

内容 「障がい児・者と防災を考える」 地域課:加藤、糸島市防災士会てまがえ隊

参加者 7名

(2) 共同作業所への活動助成(歳末たすけあい募金)

NPO法人いとしま工芸、NPO法人みらい

(3) 身体障害者福祉協会への活動支援及び助成

(4) 糸島市臨床動作法研究会親の会(レインボーサークル)への活動助成

(5) 糸島市精神障害者家族会“いとしま会”への活動支援及び助成

(6) 手をつなぐ親の会への活動支援及び助成

(7) 糸島市聴覚障害者協会へ活動支援及び助成

7. 児童・青少年・ひとり親家庭の福祉事業

(1) 福祉教育教材「ともに生きる」配布

配布対象 市内15小学校の小学3年生へ978冊配布

(2) 児童公園への遊具設置事業(既設置撤去修繕、遊具保険のみ)

実績なし

(3) ひとり親家庭の親子バスハイクの開催

◆7月7日(日)に開催した本年度のバスハイクは、新たな周知方法として公民館でのポスターとチラシの設置、市社協アプリへの掲載などを取り入れたこともあり、新規参

加者も多く見られた。父子家庭の参加もあり、新しい顔ぶれが多く見られたバスハイクになった。

日 時 令和元年7月7日(日)

場 所 北九州市 自然史・歴史博物館 いのちのたび博物館

(北九州市八幡東区東田2丁目4番1号)

参加者 22世帯(児童34人 保護者23人) 母子会7人 民生児童委員14人
社協職員6人 計84人

(4) 母子等寡婦福祉会への活動支援及び助成

(5) 共助社会づくり推進のための市町村社協モデル指定事業

①子ども未来ネットワーク定例会

◆本モデル指定事業に主に取り組むボランティアネットワークの「子ども未来ネットワーク」メンバーと市社協との会議

参加者/子ども若者支援に関心がある方(子ども食堂、フリースクール、プレーパーク、不動産事業所、障がい者福祉施設、市役所など多種多様なメンバー)

開催日	内容	人数
8月1日(木)	自己紹介、事業の進め方について	12人
8月22日(木)	第1弾講座の検討	6人
8月29日(木)	第1弾講座、学生ワークショップ、子どもラジオの内容について	10人
10月31日(木)	地域の居場所うみかえるの計画、第2弾講座の準備について	10人
11月23日(木)	第2弾講座の振り返り、うみかえるの反省	8人
12月17日(火)	うみかえるの反省・次回の計画	9人
1月31日(金)	うみかえるの反省 第3弾講座の準備について	11人
3月4日(水)	次年度計画について	11人

②学生ワークショップ

◆高校生と地域課題や解決の手段について考えるワークショップを開催

開催日	内容	人数
9月1日(日)	ワークショップ「こんな居場所があったらいいな」	12人
9月29日(日)	地域の居場所うみかえるの計画について	10人
10月27日(日)	うみかえるの開催の内容・準備について	14人

③地域の居場所「うみかえる」開催

- ◆「昔懐かしい古民家で誰でも来られるほっとできる場所」のイメージで開催
糸農生による昼食を提供

場 所／コミュニティスタジオ「うみかえる」ニ丈深江

参加者／子ども未来ネットワーク会員、学生ワークショップメンバー（糸島高校、
糸島農業高校他、一般参加

開催日／11月17日（日）10時から15時

12月15日（日）10時から15時

2月24日（月）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④子どものための大人の学び場講座

- ◆子どもや地域の居場所に対する地域住民への理解と啓発及び子どもに関心がある
仲間づくりを目的に開催

第一弾「いんだよ」は、魔法のことば

日 時／10月26日（土）15時～17時30分

講 師／齋藤真人氏（学校法人立花学園 立花高等学校校長）

参加者／79人

第二弾「子どもの居場所について～子どもの主体のきき方と大人の関わりに着目して～」

日 時／11月23日（土）10時～12時

講 師／山下智也氏（北九州市立大学人間関係学科）

参加者／45人

第三弾「子どもの声と権利」※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

日 時／2月22日（土）14時～17時

講 師／栄留里美氏（大分大学福祉健康科学助教）

8. 総合的な福祉事業

(1) 広報誌社協だより「みんなのふくし」の発行（全戸配布）

- ◆2ヶ月に1回の発行。

年6回 56号～61号の発行（4月、6月、8月、10月、12月、2月）

(2) 共同募金運動の推進（目標額1,650万円）

- ◆福岡県の目標額は、昨年実績の直近額に設定されており、達成率は101.4%で昨年度の実績を下回った。（参考：昨年度達成率98.3%）

赤い羽根共同募金総実績額 16,735,112円

【内訳】

区 分 内 容	金 額
戸別募金（行政区ごとに協力依頼）	11,781,560 円
職域募金（バッジ・タイピン募金）	700,700 円
大口募金（市内の法人企業・個人店に協力依頼）	2,981,628 円
その他（自動販売機、個人、街頭募金・募金箱、利息など）	1,971,923 円

（参考：平成 30 年度 16,232,530 円）

(3) 糸島市社会福祉大会

◆第9回糸島市社会福祉大会は、「気づき、つながり、支え合う地域共生社会を目指して」のテーマで開催した。糸島市と市社協が推進する我が事丸ごとの地域共生社会づくり推進事業の取組について、実践報告をおこなう。

日 時 令和元年9月28日（土）

講 演 「小地域福祉活動の実践報告」

発表者 コミュニティソーシャルワーカー 長・安永（市社協 地域課）

進 行 糸島市社協地域課

表 彰 対象 10 団体

優秀賞 3 団体	NPO法人ハートスタッショ ン 手話ダンス・サンダー 布絵本の会「こびとのくつや」
功労賞 7 団体	サロン笹山 いきいきサロンひまわりの会 篠原三区さんさんサロン 糸島市レクリエーションクラブ 加布里校区社会福祉協議会 にここ文庫 高田西行政区「わいわいサロン」

参加者 約200人（民生・児童委員、社協役職員、被表彰者、一般を含む）

運営委員会 3回開催（6/6、7/19、10/23）

9. 相談支援（援護活動）事業

（1）法律・心配ごと相談

法律・心配ごと相談所の開設（あごら）毎週火曜日、延べ39回実施／相談件数187件
相談員（延べ） 弁護士39人 民生児童委員38人（各地区民児協から選出）

相談内容（187件）

（参考：平成30年度279件）

生計	0	年金	0	職業・正業	5	住宅	5	家族	10	結婚	0
離婚	25	健康衛生	0	医療	1	精神衛生	2	金銭・法律	57	財産	26
事故	5	児童・母子	0	教育青少年	0	心身障害者	0	母子・父子	0	老人福祉	1
苦情	4	その他	46								

処理内容（187件）

解決	125	再来相談	21	他機関を紹介	23	その他	18
----	-----	------	----	--------	----	-----	----

（2）生活福祉資金等相談件数（生活福祉資金及び福祉金庫）

◆経済的な困窮等により、多様な生活課題を抱える人への総合的な支援をおこなう生活困窮者自立支援制度が施行され、貸付事業は連携施策として運営、活用されることとなった。

ここ数年は総合支援資金を中心に貸付実績の減少が続いており、生活困窮者自立支援制度との連携等、今後の課題も指摘されている。

また、高等学校の授業料無償化により教育支援資金の貸付件数が減少しているが、年金担保融資制度が令和4年末で申込受付が終了予定となっており、高齢者の生活福祉資金活用の増加が予想される。

①相談件数の推移（初回相談の件数）

29年度 212件
30年度 212件
令和元年度 226件

②生活福祉資金の貸付決定状況

福祉資金	福祉費	8件	1,304千円
	緊急小口資金	25件	1,931千円
教育支援資金	教育支援費	27件	13,518千円
	就学支度費	20件	6,265千円
	計	80件	23,018千円

（参考：平成30年度 76件 24,963千円）

③福祉金庫の貸付件数

- ◆明日の食費もなく生命に関わるほど窮迫している、生活費を得るための交通費や燃料代の活動費が捻出できない等、緊急を要する貸付が増加傾向にある。

50件 758,100円 (参考:平成30年度 26件 341,000円)

④特例緊急小口貸付・総合支援資金の貸付件数(新型コロナウイルス対応)

- ◆従来の貸付対応とは、違うため区別して報告

特例緊急小口貸付(コロナ対応) 24件 4,300千円

特例総合支援資金貸付 0件

(3)日常生活自立支援(権利擁護)事業

- ◆福岡県社協から基幹センターとして受託し、10月1日から、糸島市社協で契約を行う。対象は、生活困窮世帯などの困難事例も多く、地域包括支援センターや市役所福祉支援課、福祉保護課と連携した対応に努めている。

相談件数74件

(認知症高齢者等相談38件、知的障がい者等相談18件、精神障がい者等相談18件)

契約内訳

①福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス(糸島市社協事業)

利用件数27件 内訳/高齢者18件・障がい者9件(知的・精神)

(継続23件・新規契約9件・廃止5件)

②書類等預かりサービス事業(糸島市社協事業)

利用件数8件 内訳/高齢者5件・障がい者3件(知的・精神)

③安心あずかりサービス事業(独自事業)

利用件数12件 内訳/高齢者5件・障がい者7件(知的・精神)

(継続7件・新規5件・廃止4件)

10. 受託事業

(1) 健康福祉センター「あごら」「ふれあい」「二丈苑」管理・運営（指定管理者）

糸島市健康福祉センターあごら利用者数 延べ96,036人

会場名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室		652	550	833	680	915	672	768	610	814	1,224	626	387	8,731
トレーニング団体		454	404	533	538	390	427	551	436	461	454	398	119	5,165
トレーニング個人		1,510	1,559	1,750	1,683	1,496	1,615	1,607	1,554	1,326	1,515	1,491	0	17,106
調理実習室		203	164	313	360	296	302	284	265	67	314	301	106	2,975
栄養指導室		386	330	539	445	506	511	432	440	347	430	434	265	5,065
研修室1		398	337	669	471	474	640	502	338	494	639	681	258	5,901
研修室2		382	446	433	493	372	613	570	548	341	516	422	141	5,277
教養倶楽部1		375	347	330	235	237	289	324	428	399	399	592	221	4,176
教養倶楽部2		270	398	218	238	202	232	176	252	272	262	493	75	3,088
ふれあい交流室1		718	352	330	483	337	1,058	319	285	416	869	531	356	6,054
ふれあい交流室2		502	221	307	368	292	974	321	260	411	660	249	274	4,839
ゲートボール場1		250	5	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	263
ゲートボール場2		200	0	0	0	0	0	0	0	58	0	0	0	258
軽グラウンド		3,209	1,159	1,229	1,443	1,203	1,251	1,125	1,616	1,431	1,500	1,510	1,441	18,117
陶芸室		137	159	254	167	222	248	159	162	329	221	214	120	2,392
図書室		271	522	776	445	566	618	593	899	602	746	591	0	6,829
計		9,917	6,953	8,514	8,049	7,508	9,450	7,739	8,093	7,768	9,749	8,533	3,763	96,036

糸島市健康福祉センターふれあい利用者数 延べ40,222人

会場名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
健診・研修室		234	900	360	402	265	710	357	409	213	248	539	128	4,765
ふれあい交流室		289	1,128	320	253	219	118	689	643	638	274	454	212	5,237
和室1、2		92	88	118	115	89	87	134	69	116	93	101	9	1,111
和室3		104	86	120	119	83	96	171	107	82	106	68	11	1,153
趣味の部屋		281	281	297	280	217	193	200	326	101	244	260	21	2,701
陶芸室		110	102	101	74	67	77	75	75	71	61	72	10	895
一般入浴		1,432	1,270	1,252	1,199	1,182	1,180	1,425	1,415	1,381	1,442	1,636	1,590	16,404
ヘルストロン・マッサージ		113	117	97	103	82	103	103	104	94	117	96	108	1,237
テニスコート		547	677	679	545	552	522	596	553	534	457	477	580	6,719
計		3,202	4,649	3,344	3,090	2,756	3,086	3,750	3,701	3,230	3,042	3,703	2,669	40,222

糸島市高齢者福祉施設二丈苑利用者数 延べ4,180人

会場名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大研修室		105	187	123	119	105	37	383	168	184	355	385	200	2,351
小研修室(和室)		90	120	119	101	79	76	144	117	194	128	358	84	1,610
調理実習室		0	55	0	0	0	0	4	0	95	50	15	0	219
計		195	362	242	220	184	113	531	285	473	533	758	284	4,180

(2) 地域包括支援センター事業

◆地域包括ケアシステムの推進のため、医療機関や介護サービス事業所、地域の団体等と連携して高齢者が在宅で生活できるように取り組んだ。なお、地域ケア会議の実施により地域住民と地域の課題について検討して、課題解決に向けた取り組みを行った。

総合相談業務として介護保険に関する相談や糸島市高齢者福祉サービスに関することなどの相談を受け、相談内容に応じて必要な機関と連携して支援をおこなった。

【相談人数】

来所	電話	訪問	その他	合計
775人	3,629人	2,285人	419人	7,108人

【相談者内訳】

本人	家族（同居）	家族（別居）	親戚・近隣・知人	民生委員	見守り協力員
1,723人	1,248人	786人	90人	101人	26人
行政関係者	介護支援専門員	介護サービス事業所	担当ケアマネ	他包括支援センター	一般事業所
578人	165人	626人	610人	94人	100人
病院・診療所	医師	その他	合計		
725人	16人	220人	7,108人		

【相談内容】

サービスの相談		総合相談	
配食サービス	143件	介護認定	1,240件
介護用品給付サービス	394件	介護保険サービス	430件
軽度生活援助	4件	介護予防ケアマネ以外届出	17件
緊急通報装置貸与	65件	総合事業サービス	140件
移送サービス	36件	介護相談（介護方法等）	405件
緊急ショートステイ	5件	福祉用具	365件
徘徊高齢者等位置検索サービス	31件	住宅改修	239件
SOSシステム	31件	施設入所	90件
高齢者等住宅改造助成	0件	在宅医療	28件
合計	679件	見守り支援	790件
		連絡・引継	1,295件
		認知症	117件
		その他	256件
		虐待関係	62件
		権利擁護・成年後見	134件
		ケアマネ支援	61件
		消費者被害	9件
		その他困難事例	65件
		合計	5,743件

【虐待の内訳】

身体的虐待	経済的虐待	精神的虐待	性的虐待	介護放棄	合計
7件	10件	1件	0件	3件	21件

【会議の開催】

地域ケア会議 (個別支援)	地域ケア会議 (地域課題)	研修会	その他	合計
109件	8件	4件	0件	121件

※地域ケア会議の開催 40回

個別課題検討会議 29回 個別事例検討

地域課題検討会議 11回 行政区での開催6回、センター内での検討5回

【会議への参加】

行政関係主催の会議	地域関係者主催の会議	業務担当者関係の会議	その他	合計
67件	59件	39件	4件	169件

【広報活動等】

広報紙を年5回発行して、全戸回覧（3回）及び見守り訪問強化時配布（7月・11月）を実施

【介護予防ケアプラン作成】 3,069件作成

包括センターで作成） 2,740件（内新規78件）

委託事業所で作成） 329件（内新規11件）

【介護予防ケアマネジメント（総合事業）】 1,476件作成

包括センター作成） 1,418件（内新規78件）

委託事業所作成） 58件（内新規4件）

【介護予防事業】

波多江・東風・怡土校区の公民館で、毎月1回介護予防事業「げんきーぷ教室」の開催

波多江校区	東風校区	怡土校区	合計
延べ183名参加 (実人数36名)	延べ81名参加 (実人数23名)	延べ70名参加 (実人数15名)	延べ334名参加 (実人数74名)

【糸島地区介護保険事業者連絡会】

糸島地区介護保険事業者連絡会の事務局として、介護事業所との連携を図り、毎月役員会や定例会の支援を行った。

(3) 障害者相談支援事業

障がい者相談支援センターは、糸島市内に「糸島市社協」と「志摩学園」、「木の実」の3箇所に相談窓口が設置され障がいに関わる全ての相談に対して電話や訪問などにより相談支援を実施しており、各センターとの連携を事例検討や相互の情報交換等で行った。計画相談業務は、障害支援区分認定調査と連携して利用者の支援をおこなった。

□ 相談実績

【年齢層】

10歳未満	285件	40代	403件	80代	13件
10代	168件	50代	336件	90代以上	0件
20代	161件	60代	396件	不明	35件
30代	159件	70代	40件	合計	1,996件

【障がい種別】

身体障害	674件	精神障害	463件	難病	21件
重症心身障害	89件	発達障害	243件	その他	38件
知的障害	435件	高次脳機能障害	33件	合計	1,996件

【相談方法】

電話	531件	来所	214件	訪問	525件
同行・引率	14件	他機関調整	707件	その他	5件
				合計	1,996件

【支援内容】

①福祉サービスの利用等に関する支援	1,794件	⑦家計・経済に関する支援	23件	
②障害や病気の理解に関する支援	29件	⑧生活技術に関する支援	2件	
③健康・医療に関する支援	42件	⑨就労に関する支援	2件	
④不安の解消・情緒安定に関する支援	38件	⑩社会参加・余暇活動に関する支援	0件	
⑤保育・教育に関する支援	4件	⑪権利擁護に関する支援	24件	
⑥家族関係・人間関係に関する支援	7件	⑫その他	31件	
			合計	1,996件

【地域割】

前原	二丈	志摩	その他	不明	合計
1,542件	234件	139件	45件	36件	1,996件

【障がい者・児別】

障がい者	障がい児	合計
1,589件	407件	1,996件

(4) 生きがいデイ教室（総合事業）

◆総合事業として、前原東圏域を対象に月曜日に実施。

(単位：人)

あごら/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月	実人数	41	42	43	35	34	36	35	34	36	37	35	36	37/月
	利用者数 (延べ)	106	109	117	115	91	104	107	97	98	106	94	88	1,232

(参考：平成30年度 月平均29人 1,207人)

(5) 移送サービス事業

◆公共交通機関等の利用が困難な在宅の寝たきり高齢者等を移送用車両で医療機関等へ移送するサービス。(登録車両5台)

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録	高齢者	117	117	116	116	118	117	116	113	114	114	112	109	1,379
	障害者	33	33	33	33	33	33	34	34	34	34	34	34	402
	計	150	150	149	149	151	150	150	147	148	148	146	143	1,781
利用	高齢者	36	35	36	34	30	22	31	30	24	28	24	17	347
	障害者	9	4	7	6	8	3	10	5	6	6	4	4	72
	計	45	39	43	40	35	25	41	35	30	34	28	21	419

(参考：平成30年度544人)

(6) 配食サービス事業

◆調理が困難な65歳以上で一人暮らし等高齢者に対して、栄養のバランスのとれた食事を昼・夜に提供。5コースで対応(志摩地区は志摩園が受託)

(単位：人、食、四捨五入)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
実利用者数	昼	79	77	76	71	68	67	63	62	63	61	57	58	67人/月
	夕	119	117	113	113	111	103	99	99	100	103	99	95	106人/月
	合計	198	194	189	184	179	170	162	161	163	164	156	153	173人/月
配食数	昼	1,519	1,499	1,408	1,371	1,300	1,287	1,230	1,189	1,162	1,099	1,030	1,186	15,280
	夕	2,799	2,861	2,767	2,813	2,590	2,449	2,430	2,304	2,305	2,341	2,188	2,267	30,114
	合計	4,318	4,360	4,175	4,184	3,890	3,736	3,660	3,493	3,467	3,440	3,218	3,453	45,394

(参考：平成30年度56,057食)

(7) 母子家庭等日常生活支援事業

派遣件数 実績なし (参考：平成 30 年度 0 件)

(8) ふれあい生きいきサロン活動事業

◆ふれあい生きいきサロン数 124 (前原地区 62、二丈地区 24、志摩地区 38)

※2サロンが令和元年度休止した。

①地区別サロン一覧

[前原地区]

校区	団体名	行政区	開催場所
波多江	寿サロン	高田東	高田自治会館
	茶話野香(さわやか)	池田北	池田公民館
	いきいきサロンはたえ	波多江	西沖公民館・中町公民館等
	高田西「わいわいサロン」	高田西	高田自治会館
	よってきんしゃい	池田南	池田公民館
東風	いきいきサロン浦志	浦志東	浦志公民館
	いきいきサロン「志登の会」	志登	志登公民館
	泊一ふれあいサロン	泊一	泊一公民館
	潤南サロン	潤南	あごら
	潤おしゃべりカフェ	潤北	東風公民館
前原	さわさわ会	浦志南	サーパス参番館 集会所
	いきいきサロン東町	東町	東町公民館
	サロンニシマチ	西町	西町公民館
	ほがらかサロン	北新地	北新地公民館
	北本町夢サロン九会	北本町	北本町公民館
	筒井町いきいきサロン	筒井町	筒井町公民館
	ふれあい・いきいきサロン南本町	南本町	ホテルニューガイア糸島会議室
	新田サロン木曜会	新田	新田本村公民館
	浦志西いきいきサロン	浦志西	ネオハイツ前原集会室
	上町中央サロン	上町中央	上町中央公民館
	サロン上新町	上新町	前原公民館
サロン油比の里	油比	油比公民館	
前原南	上町ゆうゆうサロン	上町	前原南公民館
	篠原1区ほほえみサロン	篠原1	篠原1区自治公民館
	ひまわりサロン	老松町	老松町公民館
	中央区「ひまわりの会」	中央	県営住宅前原団地集会所

	サロン笹山	笹山	笹山公民館
	さんさんサロン	篠原三	前原南公民館
南風	美咲ふれあい悠々サロン	美咲が丘東	美咲が丘第一集会所
	よりあいサロンたく	多久	多久集落センター
	ほっとカフェ	美咲が丘西	美咲が丘第2集会所
	よりあい処南風台	南風台三丁目	南風台集会所
	笑楽会	荻浦	荻浦第一公民館
加布里	しののめ(東雲)会	東	東区集落センター
	かみありさん元気かい	神在3	神在3区公民館
	木曜会	神在4	釜塚コミュニティーセンター
	ひだまりサロン「浜の園」	神在5	浜の園団地集会所
	かむりいきいきサロン1・2・3組 (令和元年度休止)	加布里東・中・西	加布里公民館
長系	長野 友愛の会	長野	長野集落センター
	飯原サロン	飯原	飯原公民館
	川付ほっとサロン	川付	川付公民館
	サロン瀬戸	瀬戸	瀬戸公民館
雷山	ぽっかぽか広場	香力	香力自治会館
	有田ふれあいいいきいきサロン	有田	有田公民館
	づくぼうサロン	高上	高上公民館
	いきいきサロン「ふっくら(福蔵)」	蔵持	蔵持公民館
	富いきいきサロン	富	富集会所
	よかところサロン	有田中央	有田中央公民館
怡土	西堂笑話会	西堂	西堂集落センター
	曾根 より愛サロン	曾根	曾根公民館
	川原親和会	川原	川原公民館
	王丸これからクラブ	王丸	王丸公民館
	井田いきいきサロン	井田	井田公民館
	サロン住吉会	井原	井原自治会館
	お達者クラブ	高来寺	高来寺公民館
	大門いきいきサロン	大門	大門公民館
	末永サロン加多朗カイ	末永	末永構造改善センター
	いきいきサロン三雲	三雲	三雲公民館
	ふれあいサロンたかす	高祖	高祖公民館
	ひなたぼっこ輝きサロン	瑞梅寺	のぞみ館(空き家)
	井原なごみの会	井原	井原公民館
	サロン十五日会	大門	大門構造改善センター

[二丈地区]

校区	団体名	行政区	開催場所
一貴山	地域の茶の間・武サロン	武	武公民館
	サロン睦会	上深江	上深江公民館
	松国いきいきサロン	松国	松国公民館
	いきいきサロン田中	田中	田中研修センター
	満吉共愛会	満吉	満吉公民館
	にこにこ石崎会	石崎	石崎公民館
	いきいきサロン長石	長石	長石公民館
深江	本町サロン	本町	本町公民館
	やよい野ふれあいサロン	やよい野	二丈苑
	東町ふれあい生きいきサロン	東町	東町公民館
	白浜元気会	白浜町	白浜町公民館
	元町ふれあいサロン	元町	元町研修センター
	いきいきサロン下松末	下松末	下松末公民館
	宮小路ふれあい・いきいきサロン「ひまわり」	宮小路堂山	宮小路公民館
	片山サロン	片山	片山公民館
	南町いきいきサロン元気クラブ	南町	カーサ深江集会所
	松末サロン	松末	松末公民館
福吉	大入すこやかサロン	大入	大入公民館
	吉井下いきいきサロン	吉井下	福吉公民館
	高齢者サロン田村	吉井下	代表者自宅
	ふれあい竹戸サロン	吉井上	代表者自宅
	福井わくわくサロン	福井	福井区西集会場
	リフレッシュ！加茂川	佐波	佐波分校会館
	バンビハウス	鹿家	鹿家公民館

[志摩地区]

可也	初いきいきサロン	初	初公民館
	ひかりが丘いきいきサロン	ひかりが丘	ひかりが丘公民館
	花の会	師吉団地	師吉団地公民館
	そよかぜ	師吉団地	師吉団地公民館
	大浦台ふれあいいいきいきサロン(令和元年度休止)	大浦台	大浦台公民館
	津和崎シニアサロン	津和崎	津和崎公民館
	富士見ヶ丘福祉サロン	富士見ヶ丘	富士見ヶ丘集会所
	稲葉ふれあいサロン	稲葉	稲葉公民館
	小金丸西いきいき微笑み会	小金丸西	小金丸西公民館

	仲良し会	師吉	師吉公民館
	楽しい仲間作り	師吉	師吉公民館
	ヨーイ元気会	井田原	井田原公民館
	もやいの会	師吉	師吉公民館
	火山シニアサロン	稲留	稲留公民館
	大塚いきいきサロン	大塚	大塚公民館
	なごやか会	小金丸西	個人宅
	白うさぎの会	稲葉	稲葉コミュニティーセンター
	大石いきいきサロン	大石	大石公民館
	親山ふれあいサロン	親山	親山区自治公民館
桜野	いきましよう会	野北浜	野北浜公民館
	笑老(わろう)会	桜井東	谷公民館
	さわやか会	桜井東	末松集落センター
	なごみ会	桜井東	東公民館
	川上福祉サロン	川上	川上公民館
	大町サロン	大町	大町公民館
	間少路クラブ	間少路	間少路公民館
	本村いきいきサロン	本村	本村公民館
	はつらつサロン	川上	川上公民館
引津	岐志浜いきいきサロン	岐志浜	岐志浜公民館
	岐志岡いきいきサロン	岐志岡	岐志岡公民館
	野辺・福ノ浦サロン	野辺・福ノ浦	福ノ浦公民館
	東貝塚サロン	東貝塚	東貝塚公民館
	新町いきいきサロン	新町	新町公民館
	元気会	芥屋	芥屋公民館
	久家シニアサロン	久家	久家公民館
	みんなの広場	西貝塚	西貝塚公民館
	松原ふれあいサロン	松原	松原公民館
	いきいきサロン船越	船越	船越公民館

②サロン代表者会（研修も含む）

月	日	事業内容	講師等	会場	参加者数
7	19	サロン間情報交換（前原地区）	社協地域課	あごら	51人
	24	サロン間情報交換（二丈・志摩地区）	〃	ふれあい	40人
2	13	活動報告及び申請等について	社協地域課	あごら	75人
	6	〃	〃	ふれあい	40人
	8	〃	〃	深江公民館	22人

③サロンボランティア9団体の代表者会及び会員研修会

月	日	事業内容	講師等	会場	参加者数
9	4	研修会「元気なうちから意識 しましょう！全身調整体操」	社協デイサービスセンター 理学療法士 梅原 敦子氏	あごら	80人
	4	代表者会	社協地域課	あごら	7人
3	6	研修会「高齢者の移動手段と 移動支援について」	さが福祉移動サービス・ネッ トワーク 江口 陽介氏	あごら	新型コロナ ウイルス感 染拡大防止 のため中止
	6	代表者会	社協地域課	あごら	

④サロンボランティア派遣実績

	令和元年度	参考（平成30年度）
登録団体数	9 団体	9 団体
派遣サロン数	234 回	308 回
活動人数（延べ）	633 人	726 人
【ボランティア団体名】 ①はつらつマイスターズ ②はるか ③キューティスマイル ④いとのか ⑤セラピューティックケア「ハーモニー」 ⑥「ジネス」ボランティア ⑦回想法ボランティア「つんのーて」 ⑧食生活改善推進会 ⑨DVD 上映ボランティア銀幕		

⑤歯科医師会・薬剤師会からの派遣実績

歯科医師会	薬剤師会
9回延べ 14 人	1 回延べ 1 人

(9) 特別支援学校高等部送迎バス運行事業（福岡県委託事業）

◆生の松原特別支援学校高等部の生徒の通学支援のためのバス運行事業

・生の松原特別支援学校高等部登録数 10 人

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登校	121	167	143	132	27	169	165	193	135	164	164	0	1,580
下校	110	144	121	117	25	156	141	178	125	147	145	0	1,409
計	231	311	264	249	52	325	306	371	260	311	309	0	2,989

(参考：平成 30 年度 登録 10 人 延べ 3,311 人)

(10) 手話奉仕員養成研修事業

◆社協の共同募金事業から糸島市主催の事業として新たに実施

開催日数 46回 (40講座 6講義)

申込者	延受講者数	修了者数
18人	697人	13人

(11) 障害支援区分認定調査事業

58件 内訳 新規24件 更新29件 区分変更2件 再申請3件

障害種別・身体25件 ・精神8件 ・療育11件 ・身体,療育8件

・身体,精神2件 ・難病1件 ・その他3件

(参考：平成30年度75件)

(12) 家庭介護者研修事業

◆糸島市の在宅の介護力を高めることを目的に介護技術や知識を学ぶ研修会を日本赤十字社福岡県支部や糸島歯科医師会、PT、社協ヘルパー等を講師に迎え開催した。

受講者 33人 延べ参加者 103人

会場(開催月)	申込者数	出席者数				
		第1講座	第2講座	第3講座	第4講座	平均
あごら(7月)	10人	10人	7人	9人	8人	8.5人
深江公民館(11月)	8人	8人	7人	5人	8人	7人
あごら(2月)	15人	14人	13人	14人	中止	13.6人
計	33人	32人	27人	28人	16人	8.6人

(13) 移動支援(集団型)

◆生の松原特別支援学校高等部の生徒の通学支援のためのバスの介助員派遣

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学校日	15	19	20	15	3	14	21	21	16	19	17	0	185
延べ派遣者数	30	38	40	30	6	38	42	43	35	38	36	0	376

(参考：平成30年度 延べ404人)

(14) 生活支援体制整備事業

①生活支援体制整備推進協議会の設置、運営

年 4 回開催

No.	開催日	協議事項	参加者数
1	5月17日(金)	・令和元年度生活支援体制整備事業計画について ・地域ささえあい会議（第2層協議体）について	18
2	8月30日(金)	・地域ささえあい会議（第2層協議体）について ・第2層生活支援コーディネーターについて	17
3	11月14日(木)	・地域ささえあい会議（第2層協議体）について ・第2層生活支援コーディネーターについて	17
4	2月5日(水)	・令和元年度の事業総括について ・次年度（令和2年度）の事業計画について	17

②市への連絡会議（定例会）

年 5 回開催

③住民主体の生活支援活動を担う人材養成講座の開催

◆一貴山、南風、前原の計3会場で地域ささえあいサポーター講座（3日間）を開催。サポーター講座修了者が受講できる地域ささえあいサポーターステップアップ講座を企画した。

地域ささえあいサポーター養成講座 受講者94人（のべ参加人数270人）
地域ささえあいサポーター登録者 内39人が登録
地域ささえあいサポーターステップアップ講座 申込者94人
（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

④社会資源調査・ヒアリング等

◆加除式情報誌本体およびダイジェスト版に掲載済み団体の情報の収集・調査を経て更新するとともに、新項目としてペット関係を追加調査し掲載した。

掲載事業所数 67ヶ所（前年度比+7）
延べ掲載 76枠（前年度比+5）

⑤地域ケア会議への参加・地域課題の整理

◆地域ケア会議に参加し、地域課題解決へ向けて協議を行ったり、あんしん生活サポート事業や地域ささえあい会議の情報提供をおこなった。

9校区延べ21回参加

⑥既存の組織・団体との連携、事業の啓発活動

- ◆校区社協会長・事務局長会議、校区区長会、校区社会福祉協議会などで生活支援体制整備事業、糸島市あんしん生活サポート事業、地域ささえあい会議（第2層協議体）等の説明をおこなう。

周知・啓発活動23回

⑦地域ささえあい会議（第2層協議体）の設置推進

- ◆13校区に新たに設置が決定し、全15校区が設置済みとなった。うち14校区で今年度計31回の会議の運営支援を行った。また、運営支援に関し各地域包括支援センターと計5回の協議をおこなった。

校 区	期 日	参加 人数	内 容
波多江	準備会①1月8日(火)	9	会議の理解、校区よかとこを共有、気になるテーマ共有した後、次年度内容・時期・参加者の決定 サポート事業に関する質疑応答により、次年度の方向性が定まった。
	準備会②2月4日(火)	10	
東 風	打合せ6月12日(水)		会議の理解、校区における会議の位置づけや参加者、今後の進め方を協議し校区社協全体で確認できた
	準備会①6月25日(火)	10	
	準備会②10月22日(火)	21	
	第1回2月1日(土)	35	
怡 土	打合せ7月2日(火)		準備会では、参加者の多くが高齢者の移動手段を校区の課題だととらえていることが明らかになった。また、今後は、行政区毎の見守り活動を土台としながら、サポーターも加えた形で怡土校区独自の会議のもち方で進めることとなった。
	準備会①7月21日(日)	20	
	第1回11月8日(金)	19	
	打合せ1月31日(金)		
	打合せ2月7日(金)		
	研修2月15日(土)	30	
前 原	打合せ5月2日(木)		第1回のグループワークを受けて第2回では、行政区別に①よかとこ②自慢③福祉活動を話し合い情報共有した。参加者自らが日常のささえあい活動を確認でき、よい面だけでなく課題も意識できたので、次年度は解決に向けた取り組みへつなげたい。
	第1回5月10日(金)	32	
	打合せ2月6日(木)		
	第2回2月15日(土)	36	
南 風	打合せ6月2日(日)		昨年度末に参加継続意思を確認済み会員により、今年度会議がスタート。「話し合いの産物を何らかの形で実行する」と意思統一し、ワークショップ形式(3~4班)で企画案作り。①南風ささえあいの日の活動 ②高齢者の困りごと解決 ③居場所作りの3案からまず①を実行することに決定。第7回では企画を5W2Hに落とし込み、具体的に動ける内容に深め、令和2年度の早い時期に実行する計画を立てた。
	第3回6月6日(木)	16	
	打合せ6月21日(金)		
	打合せ7月9日(火)		
	打合せ7月13日(土)		
	第4回7月23日(火)	15	
	第5回9月3日(火)	13	
	第6回11月29日(金)	10	
第7回2月11日(火)	15		
加布里	打合せ5月28日(火)		第1回で会議の目的の説明と校区の現状と課題を協議。第2回では情報共有できていない現状を確認し、会議を情報共有の場として活用する機運が高まった。
	第1回12月12日(金)	9	
	第2回2月7日(金)	9	
前原南	打合せ5月15日(水)		第1回で①校区のよかとこ②気になること③会議で取り上げたいテーマをグループワークで話しあい、第2回では校区社協見守り訪問の対象年齢見直しについて検討した。また、居場所に関して子ども食堂紹介を行い、連携協力のきっかけとなった。
	第1回5月24日(金)	28	
	打合せ10月18日(金)		
	第2回11月22日(金)	29	
	打合せ4月24日(水)		第1回で会議の位置づけや現状の説明の後、第2回ではグループワークを行い、校区内の認知症カフェ設立に向けての検討を行った結果、校区社協主導で、女性の会の協力を得てゆるやかに進めることとなった。
打合せ4月26日(金)			
第1回4月27日(土)	36		
第2回2月1日(土)	35		
雷 山	打合せ5月17日(金)あごら		地域ケア会議と切り離して開催したが、地域ケア会議で出た行政区の取組み構想も情報提供された。新たに地域ささえあい通いの場の立ち上げができた。
	第3回5月28日(火)	11	
	第4回12月17日(火)		
一貴山	打合せ5月15日(水)		今年度、一貴山校区でサポーター養成講座開催のため、この機に生活支援サポーターを多く育成し、校区の生活支援のしくみを作ることを目的として開催した。財源の問題で、市事業の枠内でのモデル的な取り組み開始はできなかったため、校区独自のしくみの立ち上げは中止。
	第1回5月25日(土)	29	
	第2回11月3日(日)	30	
	説明11月21日(木)		
	説明1月21日(火)		
深 江	打合せ7月10日(水)		会議の内容や目的に関して協議し、少人数の会議で福祉に関する様々な情報交換を目的とし、校区社協のなかに設置することで確認が得られた。
	準備会①9月5日(木)	8	
	準備会②9月24日(火)	40	
福 吉	打合せ5月23日(木)		地域ささえあい推進員が配置された機会に、ささえあいに関する校区会議を始める、という理解で始められた。準備会では参加者を協議し決定。第2回では次年度からの進め方を協議した。
	準備会①5月30日(木)	23	
	打合せ11月7日(木)		
	第1回12月5日(木)	23	
可 也	準備会①7月6日(土)	6	準備会①では校区のよかとこ等を話し合い、会議の目的や設置方法を説明。②では目的の再確認と情報交換
	準備会②10月5日(土)	7	
引 津	準備会9月26日(木)	20	準備会では、会議の目的や設置方法等の説明を行なった。3月にも開催予定だったが、中止となった。

⑧研修会への参加

福岡県 生活支援コーディネーター連絡会 年4回
 生活支援コーディネーターと協議体による地域づくり戦略セミナー 1回
 福岡県 現代的課題対応研修 1回

計6回

(15) 糸島市あんしん生活サポート事業（総合事業訪問B）

①地域ささえあい推進員連絡会議

◆糸島市あんしん生活サポート事業の調整役として小学校区に推進員を配置。令和元年度11人の推進員と2人の生活支援コーディネーターとで連絡会議を毎月開催。情報交換、情報提供をはじめ、コーディネートの詳細協議や新しいメニューの開発、サポーターに対する活動支援に関する協議などをおこなっている。

地域ささえあい推進員連絡会議 年11回開催

推進員設置校区 波多江校区、東風校区、怡土校区、南風校区、前原校区、前原南校区、雷山校区、一貴山校区、深江校区、福吉校区、桜野校区

②利用者実績

◆対象が限定されていることもあって利用者数は少ないが、メニュー2つを新設でき、サポートにつなげ、利用者に喜んでもらった。市民や事業所への周知、民生委員・児童委員、福祉委員への協力依頼、包括支援センターとの細やかな連絡調整の必要がある。

利用者13人

買い物3、ゴミ出し162、その他1 計166

圏域	校区	対象者数	対応サポーター数	サポート回数	見守りのみ回数
前原東	波多江	2人	2人	買い物 1	9
	怡土	2人	2人	ゴミ出し 12 その他 1	21
前原西	前原	2人	2人	買い物 1 ゴミ出し 76	11
	南風	1人	1人	ゴミ出し 24	3
	加布里	1人	1人	買い物 1	10
前原	前原南	2人	2人	ゴミ出し 47	12
志摩	可也	3人	3人	ゴミ出し 3	33
計		13人	13人	116回	99回

③圏域別・校区別サポーター交流会

- ◆サポーターが集まり、意見交換や身近な地域にある高齢者にやさしいお店などの調査をしていただき、情報交換を図る。

15校区対象17回開催 延べ194人参加

(16) 地域力強化推進事業（我が事丸ごとの地域づくり推進事業）

- ◆「経済的困窮」「孤立」「複合的課題」など制度の狭間にある問題をまるごと受け止め、高齢者・障がい者・児童といった分野を超え、地域住民、関係支援機関が協働し、地域の課題を主体的に把握し、その課題解決を試みる体制づくりを支援する事業。

- ①「住民の身近な圏域」において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決することが出来る環境の整備

ア 地域の担い手養成

取組内容	地域ささえあいサポーター養成講座の実施（3回） 福祉教育プログラムの実施（小学生対象1回、中学校1回）
実績	①地域ささえあいサポーター養成講座を3ヶ所で開催し、累計176名のサポーターが登録 ②「社会貢献教育“寄付の教室”」を市社協事業で小学5・6年生30名に、前原西中学校1年生30名を対象に開催

イ 地域ささえあい会議の開催支援

取組内容	地域の生活課題解決に向け、取り組むことやできることなどをみんなで話し合う場。地域の多様な関係者がメンバーとなって地域のみんなの力を集結する「地域ささえあい会議」の設置推進に取り組んだ。具体的には、設置推進の理由について、校区区長会、校区社協会長・事務局長会議や各校区社協における学習会等で説明をおこなった。 また、場の設置については、新しいものではなく、校区の実態に応じて、既存会議の中で行えるように努め、15校区中14校区に設置することが出来た。
実績	12小学校区に設置（波多江、東風、怡土、前原、加布里、前原南、長糸、一貴山、深江、福吉、可也、引津） ※昨年度までに2小学校区に設置（南風校区、雷山校区）

ウ 課題解決型のボランティアの組織化

取組内容	令和元年12月7日に第3回糸島市我が事丸ごと研究大会（講演会及び市全域を対象としたワークショップ）を行い、地域課題解決型ボランティアの仲間づくり及び組織化を図る。
実績	<p>昨年同様、地域生活課題解決に熱意がある人、又は取り組んでいる人達を実行委員として参画していただき、それぞれが共感できる分野（子どもの居場所・高齢者の移動手段・障がいアート・ボランティア）で分科会を企画した。今回は午前中が講座中心、午後からはワークショップ中心とし、情報交換できる場として開催した。</p> <p>〈我が丸アート〉</p> <p>研究大会の実行委員や参加者から「障がいアート」に関心がある人が有志で集い、定期的に情報交換を進めている。目的は下記の2つである。</p> <p>①障害者支援施設の利用者が芸術作品（絵や手芸品等）を作成し、販売することで新たな収入源を確保することを目指す。</p> <p>②健常者と障がい者がコミュニケーションを取る手段として音楽や芸術作品を活用し、お互いの理解を深めることを目指す</p> <p>参加者は、芸術分野に長けた専門家（音楽家、九州大学の芸術講師）と障害者支援事業所3ヶ所で組織されているが、今後活動方針を固め、市社協事業にも関わっていただく。</p> <p>〈子ども未来ネットワーク〉</p> <p>昨年度研究大会を受けて設立された組織で、今年度は福岡県社会福祉協議会「共助社会づくり推進モデル事業」の助成を受け、子どもの居場所ボランティア募集のための講演会の開催や、二丈深江に市内の高校生が主体的に企画・運営する「地域の居場所うみかえる」を2回開催。研究大会の参加者から派生して、市民や事業所が関わり、独自の取り組みを進めている。</p>

エ 校区社会福祉協議会の活動強化

取組内容	校区社協相互の連携、他市町村への視察調整・同行
実績	<p>認知症高齢者搜索・声掛け訓練の企画・運営支援（波多江校区）</p> <p>施設や他市町村への視察調整・同行（前原校区・長系校区・一貴山校区・深江校区・福吉校区・可也校区・桜野校区）</p> <p>我が事・丸ごと研究大会の講師依頼（長系校区）</p>

- ②「住民に身近な圏域」において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決することが出来る環境の整備

ア CSW のモデル配置

制度の狭間に置かれた人の早期発見・早期支援・活躍の場（社会参加の第一

歩) 創出を行い、支援の受け皿機能の整備

イ 福祉まるごと出張相談会の開催

コミュニティソーシャルワーカーによる「福祉まるごと出張相談会」を市内15公民館で開催

取組内容	<p>ア 福祉まるごと相談窓口を開設し、CSW が当事者や関係者から相談を受け、伴走型支援を行う。</p> <p>イ 15公民館を年に1回ずつ、職員2名体制で出張相談会（予約なし相談可）を実施する。対象は、相談者本人・家族と民生委員児童委員等地域の見守り関係者ほか。</p>
実績	<p>ア 相談件数56件 解決件数46件 連携件数35件（別紙）</p> <p>イ 市内15公民館で福祉まるごと出張相談会を実施</p>

(17) 生活困窮者自立支援相談事業

- ◆系島市役所(福祉支援課)へ職員を派遣し、市の関係各課と連携を図りながら、生活困窮者からの相談に早期かつ包括的に対応する相談窓口として、生活困窮者の抱えている課題を評価・分析(アセスメント)し、その課題を踏まえた「自立支援計画」を作成するなどの支援

①相談支援実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
新規相談受付件数(総数)		24	26	22	21	26	20	32	19	20	18	20	25	273
継続相談受付件数(前年度からの継続者を含む)		66	70	91	70	63	68	81	88	79	71	73	79	899
終了者数(前年度からの継続者を含む)		14	22	20	23	37	18	25	15	21	34	19	26	274
生活困窮を経て、生活保護となった者		1	3	4	2	0	1	1	1	3	3	3	1	23
プラン作成件数(総数)		3	2	3	2	4	4	3	4	4	1	3	3	36
就労支援対象者数 (プラン期間中の一般就労を目標にしている)		2	2	0	2	0	3	2	1	2	0	1	3	18
法に 基 づく 数 事 業 等	住居確保給付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時生活支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計相談支援事業	0	0	0	0	2	2	2	3	1	1	3	1	15
	就労準備支援事業	0	1	0	2	0	0	1	1	0	0	0	1	6
	就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	0	0	1	2	1	4	2	1	3	0	1	1	16
そ の 他	生活福祉資金等による貸付	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4
	生活保護受給者等就労自立促進事業	1	1	0	0	0	2	0	1	2	0	1	1	9

②会議・自主研修会実績

	会議	研修（テーマ）
4月	5日：月末処理会議・就労準備支援調整会議 18日：支援調整会議 26日：月末処理会議	23日：住宅確保給付金
5月	10日：就労準備支援調整会議 16日：支援調整会議 31日：月末処理会議	29日：プラン検討 31日：プラン検討
6月	7日：就労準備支援調整会議 20日：支援調整会議 28日：月末処理会議	17日：ケース勉強会
7月	5日：就労準備支援調整会議 18日：支援調整会議 31日：月末処理会議	31日：研修伝達研修 (ひきこもり、精神障害)
8月	2日：就労準備支援調整会議 22日：支援調整会議 30日：月末処理会議・就労準備支援調整会議	30日：帳票等の作成について
9月	19日：支援調整会議	13日：ケース検討 27日：ケース検討
10月	1日：月末処理会議 4日：就労準備支援調整会議 17日：支援調整会議 29日：月末処理会議	
11月	1日：就労準備支援調整会議 14日：支援調整会議 26日：月末処理会議	11日：ケース検討 19日：養成研修伝達研修
12月	6日：就労準備支援調整会議 19日：支援調整会議 24日：月末処理会議 27日：就労準備支援調整会議	19日：リースバックについて
1月	16日：支援調整会議 28日：月末処理会議 31日：就労準備支援調整会議	
2月	25日：月末処理会議 27日：支援調整会議 28日：就労準備支援調整会議	27日：相談者の引継ぎ
3月	19日：支援調整会議 27日：月末処理会議・就労準備支援調整会議	19日：ケース検討 コロナ特例貸付

(18) 市民後見推進事業

- ◆一般の市民が地域で後見人として活動することができるよう市民後見人養成講座の開催や、その養成講座修了者を登録する制度等の確立に向け、関係者との連携体制の構築を推進

①糸島市市民後見人養成講座の開催

令和元年11月2日（土）から令和2年2月22日（土）全10回（50時間）

参加者31人 修了者28人

②講座内容一覧

実施時期	(会 場 住 所)	内 容	出席者等	参加人数
令和元年 11月2日	糸島市健康福祉センターあごら 福岡県糸島市潤一丁目22番1号	開講式	糸島市社協会長他	29人
		権利擁護について	熊本大学 石橋敏郎教授	29人
		後見人等の使命	NPO高齢者・障害者安心サポート 南新茂氏	29人
		日常生活自立支援事業	糸島市社会福祉協議会	29人
		ガイダンス、注意事項、ゼミ組み分け四一ル説明	安心サポート他	29人
令和元年 11月9日	糸島市健康福祉センターあごら 福岡県糸島市潤一丁目22番1号	地域福祉と市民後見人の役割	筑紫女学園大学 山崎安則教授	27人
		後見人等に必要な民法のポイント①の1	迫田登紀子 弁護士	27人
		法定後見のあらまし	安心サポート 豊留一	27人
令和元年 11月16日	糸島市健康福祉センターあごら 福岡県糸島市潤一丁目22番1号	後見人等に必要な民法のポイント①の2	迫田登紀子 弁護士	31人
		法定後見のあらまし	安心サポート 豊留一	30人
		年金制度のあらまし	松田俊昭 社会保険労務士	30人
令和元年 11月30日	糸島市健康福祉センターあごら 福岡県糸島市潤一丁目22番1号	障がい福祉の施策について	福岡県障がい福祉課 中島徹也課長	29人
		障がい者後見の実務	安心サポート 高原勝利	29人
		遺言のあらまし	安心サポート 樋口健児	30人
		成年後見制度利用促進法について	安心サポート 森山彰理事長	30人
		社会保障制度について	九州大学 丸谷浩介教授	29人
令和元年 12月21日	糸島市健康福祉センターあごら 福岡県糸島市潤一丁目22番1号	居宅サービスと施設サービス	西九州大学 安徳弥生准教授	30人
		障がい者後見の実務	安心サポート 高原勝利	30人
		介護保険制度	福岡市介護保険課 青木忠通課長	26人
令和2年 1月11日	糸島市健康福祉センターあごら 福岡県糸島市潤一丁目22番1号	任意後見移行型のあらまし	安心サポート 森山彰理事長	26人
		後見人実務に関するゼミナール(1)		27人
		地域医療(認知症を含む)と地域包括ケアシステム	田中耕太郎 医師	28人
		任意後見移行型のあらまし	安心サポート 森山彰理事長	26人
令和2年 1月18日	糸島市健康福祉センターあごら 福岡県糸島市潤一丁目22番1号	家庭裁判所における成年後見制度の取扱い	家庭裁判所 楠木俊治主任書記官	27人
		後見人実務に関するゼミナール(2)		26人
		地域づくりとボランティア活動	九州大学 高野和良教授	25人
令和2年 2月1日	糸島市健康福祉センターあごら 福岡県糸島市潤一丁目22番1号	相続法のあらまし	石井宏治 弁護士	25人
		後見人実務に関するゼミナール(3)		25人
		後見実務(収支計算書・事務処理日誌の作成)	安心サポート 豊留一	28人
令和2年 2月15日	糸島市健康福祉センターあごら 福岡県糸島市潤一丁目22番1号	地域後見と身上保護重視の後見について	安心サポート 森山彰理事長	23人
		死後事務について	NPO地域生活 中山千住理事長	24人
		後見人実務に関するゼミナール(4)		24人
令和2年 2月22日	糸島市健康福祉センターあごら 福岡県糸島市潤一丁目22番1号	税金の話	遠山政孝 税理士	22人
		課題研究発表	安心サポート 森山彰理事長	24人
		座談会	安心サポート他	24人
		修了式、修了証交付	糸島市他	24人

1.1. その他（社会福祉法人の公益的な取組も含む）

(1) 第三者委員会

- 令和元年度 苦情解決・第三者委員会

1回 期日：令和元年7月25日（木） 場所：あごら

2回 期日：令和2年2月28日（金） 場所：あごら

- 令和元年度 福祉サービス苦情解決従事者研修会（県社協主催）

期日：令和2年1月16日（木） 場所：クローバープラザ

令和2年1月17日（金） 場所：クローバープラザ

出席者：第三者委員、事業所管理者

(2) 傷害・賠償報告

◆自損事故が多く、職員で修繕する。

①事業関係

6件（サロン傷害保険）

②車両関係

0件（車両 89 台 対物、自損、対人 参考：平成 30 年度 5 件）

(3) ライフレスキュー事業の実施

◆ふくおかライフレスキュー事業では、糸島市内の社会福祉法人が連携をして糸島地区連絡会を開催して、困窮者に対する支援を、フードバンク糸島ハピネスからの食料支援も含め、相談支援を行った。

[支援件数]

相談件数	3件
支援件数	2件
現物給付件数	1件

[支援内容]

・車上生活者への支援、現物給付・ベッドの貸出支援

[糸島地区連絡会の開催]

連絡会事務局を担当し、連絡会を6回開催した。連絡会では支援した事例の検討や新規相談についての検討、連絡会のあり方等について協議を行い、社会福祉法人間の連携に努めた。

[事業説明等]

志摩地区民児協定例会 1回

糸島市社会福祉協議会ケアプランセンター

1 総括

令和元年度は総合職1名、一般職4名、再雇用職員3名、常勤パート1名の計9人体制で業務を遂行した。

また、居宅介護支援ソフトの変更で、通常の業務に加えて多忙となったが、毎月の新規利用者の依頼は断らずに受入をおこなった。

新規のケースでは、前原東地域包括支援センターや福岡市内の病院からの依頼が多くあり、困難ケースの依頼では、前原東地域包括支援センターから1名であった。

その他、特定事業所加算Ⅱの算定要件である他居宅事業所との事例検討会を実施し、地域のケアマネジメントの向上に努めた。

2 実績

(1) 要介護度別利用者数

単位：件

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	89	88	87	93	95	98	96	95	95	94	97	96	94	1,123
要介護度2	78	82	85	87	80	81	79	78	79	75	69	66	78	939
要介護度3	40	34	31	30	31	30	30	29	32	34	35	36	33	392
要介護度4	21	24	24	22	21	22	22	26	27	24	25	27	24	285
要介護度5	11	11	10	10	10	10	11	10	9	10	12	11	10	125
令和元年度計	239	239	237	242	237	241	238	238	242	237	238	236	239	2,864
平成30年度計	257	259	250	260	244	247	246	244	245	245	245	247	249	2,989

(2) 介護支援専門員一人当たり平均件数

令和元年度 26.5

平成30年度 27.6

(3) 新規利用件数(年度の新規件数)

令和元年度 100.0

平成30年度 105.0

(4) 地域別状況 (令和2年3月末現在)

前原地区 168

二丈地区 35

志摩地区 26

福岡市 7

その他 3

糸島市社会福祉協議会ヘルパーステーション

1 総括

令和元年度は、利用者数に変わりなかったが、サービス提供時間が増加した。理由として利用者の身体状況も刻々と変化中、支援の必要性が高まったケースが多かったと考えられる。
 現在、就業しているヘルパーの高齢化がますます進行しており、後継者の育成や人材確保が課題である。
 また、今後もヘルパーに更なる専門性を求められると考えられるため、様々なニーズに対応できるように研修会の実施等スキルアップに努める。

2 実績

(1) サービス内容別サービス提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)	
													元年度	30年度
身体介護 時間	241	220	220	236	258	259	305	275	275	264	265	237	3,055	3,279
身体生活 時間	136	152	149	140	102	94	113	97	102	89	83	71	1,330	1,004
生活援助 時間	415	444	439	458	385	431	431	424	387	374	353	366	4,907	4,976
令和元年度計	792	816	809	834	746	784	849	796	765	727	701	674	9,292	
平成30年度計	772	853	764	734	732	721	793	763	783	761	740	844		9,259

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
事業対象者	4	5	5	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5.1	61
要支援1	18	15	16	18	18	23	21	21	21	20	21	19	19.3	231
要支援2	26	27	27	25	29	26	27	25	24	25	21	19	25.1	301
要介護1	13	15	16	15	15	14	13	14	13	13	12	14	13.9	167
要介護2	15	13	13	15	14	13	14	14	13	12	12	10	13.2	158
要介護3	7	6	5	5	6	4	5	7	6	7	7	7	6.0	72
要介護4	3	5	5	5	4	4	5	4	2	2	3	4	3.8	46
要介護5	4	3	3	3	3	3	4	4	5	5	5	5	3.9	47
令和元年度計	90	89	90	92	95	92	94	94	89	89	86	83	90.3	1,173
平成30年度計	96	102	99	93	94	96	91	93	90	87	89	90	93.3	1,120

(3) 自主事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	4	5	4	7	5	7	6	6	4	4	5	5	62
時間	7	15	8	13	18	19	14	16	13	13	18	9	163

糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション

1 総括

令和元年度は、登録ヘルパーの退職や病休でマンパワー不足の状態が続いたため支援量を伸ばすことが出来なかった。全体的な利用者数に大きな変動は見られないものの、毎日の生活を維持するために見守りが必要な状況にある利用者でも、介護認定の結果が要支援になるケースが増えてきており、サービスが不足する分を有料サポートで補うという意味で、有料サポートのニーズが高まっている様子が見られる。まずはマンパワー不足を解消して、支援拡充できるよう努めていきたい。

2 実績

(1) サービス内容別サービス提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)	
													元年度	30年度
身体介護 時間	77.5	124.5	106.0	132.8	100.3	102.8	95.0	91.8	82.3	86.8	80.0	73.0	1,152.5	1,471.3
身体生活 時間	89.0	119.6	81.5	74.0	71.0	72.5	100.0	103.0	98.0	87.6	77.0	78.7	1,051.9	1,277.5
生活援助 時間	238.0	240.0	230.6	228.5	202.8	234.5	253.3	210.5	210.3	204.5	236.5	238.8	2,728.2	2,778.3
令和元年度 計	404.5	484.1	418.1	435.3	374.0	409.8	448.3	405.3	390.5	378.9	393.5	390.5	4,932.6	
平成30年度 計	474.0	427.5	443.3	473.9	470.8	446.6	492.3	463.0	477.8	467.8	457.6	432.5		5,527.1

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	11月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
要支援1	11	7	7	9	10	10	10	10	11	11	10	13	9.9	119
要支援2	9	13	12	14	14	14	13	12	11	13	11	10	12.2	146
要介護1	9	13	13	12	13	13	13	12	9	9	8	8	11.0	132
要介護2	5	4	4	3	3	3	3	3	4	4	4	4	3.7	44
要介護3	4	4	2	3	1	1	1	1	2	1	1	1	1.8	22
要介護4	1	2	2	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1.6	19
要介護5	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	1.7	20
令和元年度 計	41	45	42	44	44	44	43	41	40	42	37	39	41.8	502
平成30年度 計	41	43	46	44	44	45	45	43	43	45	46	41	43.8	526

(3) 自主事業

単位：時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	4	6	4	6	5	6	6	5	6	9	8	7	72
時間	17.0	27.5	15.0	29.5	30.5	29.0	43.0	25.5	34.5	39.5	44.0	40.0	375

糸島市社会福祉協議会志摩ヘルパーステーション

1 総括

令和元年度は、新規の利用数が43名と昨年よりかなり増加した。中止人数は15名であり、総利用数からみて月平均で7名程度の利用者が増加した。総サービス提供時間数では年300時間の増加となった。要支援者と要介護者の割合は、ほぼ半数ずつであるが身体介護のサービス提供時間が増加し、介護保険報酬も増加した。介護福祉士の資格取得者も増え、訪問介護の専門性を生かし地域での在宅生活者を支援する必要性も実感した。

2 実績

(1) サービス内容別サービス提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)	
													元年度	30年度
身体介護 時間	158.0	166.5	162.0	179.0	176.0	191.0	203.0	198.5	211.5	196.5	166.0	174.0	2182.0	1285.0
身体生活 時間	97.5	98.0	124.0	104.5	102.5	93.5	107.5	108.0	137.5	115.0	79.5	83.0	1250.5	1255.5
生活援助 時間	327.5	336.0	356.0	343.0	320.0	335.0	367.5	353.5	360.0	360.0	342.5	349.0	4150.0	4472.5
令和元年度計	583.0	600.5	642.0	626.5	598.5	619.5	678.0	660.0	709.0	671.5	588.0	606.0	7582.5	
平成30年度計	588.5	597.5	629.0	654.0	616.5	592.5	626.5	594.5	595.0	565.0	513.0	613.5		7286.5

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
事業対象者	2	2	3	3	4	3	3	3	3	2	3	3	2.8	34
要支援1	10	10	10	12	10	12	12	11	13	12	12	11	11.3	135
要支援2	13	14	14	12	13	16	16	15	16	13	13	14	14.1	169
要介護1	11	12	9	10	10	11	12	13	10	10	9	8	10.4	125
要介護2	6	9	10	9	10	9	10	12	13	12	13	14	10.6	127
要介護3	6	6	5	5	5	5	4	3	5	3	2	1	4.2	50
要介護4	4	4	5	5	5	5	5	6	6	6	6	5	5.2	62
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0.4	5
令和元年度計	52	57	56	56	57	61	62	64	67	59	59	57	58.9	707
平成30年度計	54	55	54	54	52	52	53	49	50	47	49	49	51.5	618

(3) 自主事業

単位：時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	4	4	5	5	6	5	6	5	5	3	4	5	57
時間	15.0	14.5	20.0	17.0	14.5	10.0	17.0	9.5	11.5	5.5	6.5	10.5	151.5

定期巡回随時対応型訪問介護看護 ヘルパーステーションそれいゆ

1. 総括

令和元年度は、重介護度の利用者の死亡や入所もあったが前年度より増収した。各方面への周知活動を継続してきたことで新規利用者が徐々に増え、軽介護度の利用者がサービス開始から介護度が上がっていくケースも多く実績として伸びている。

また、昨年度からのあごら、志摩、二丈ヘルパーステーションとの業務委託により人材不足は緩和されているが、他の事業所においても人材に余裕がないため、今後新規の利用者の増加を図るためには、人材不足と職員の高齢化の解消が必要となっている。

2. 実績

(1) 要介護度別利用者数及びサービス提供回数

単位：人、回

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	5	5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	45
要介護1													
定期訪問	157	168	160	147	133	134	128	125	123	125	116	131	1,647
随時訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人数	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	4	4	52
要介護2													
定期訪問	190	241	240	247	244	198	221	252	297	205	187	255	2,777
随時訪問	0	10	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	14
人数	5	4	5	4	4	4	3	6	6	5	6	5	57
要介護3													
定期訪問	364	355	360	265	354	330	261	448	454	421	418	429	4,459
随時訪問	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
人数	2	2	2	2	2	2	1	1	2	3	2	1	22
要介護4													
定期訪問	166	167	164	165	166	161	84	65	62	224	127	71	1,622
随時訪問	1	2	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	8
人数	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	3	27
要介護5													
定期訪問	148	171	168	171	157	156	254	246	174	170	160	180	2,155
随時訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	18	17	18	16	16	16	15	18	18	18	17	16	203
令和元年度計	1,025	1,102	1,092	995	1,054	979	948	1,136	1,110	1,145	1,008	1,066	12,660
	1	12	2	0	0	4	1	2	3	0	0	0	25

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンター

1 総括

令和元年度よりADL維持等加算Ⅰを算定、また11月からは、特定処遇改善加算Ⅱも算定開始となったが、12月頃より徐々に利用者数の減少が進み、併せて新型コロナウイルス感染を危惧されての長期欠席者数が20名以上出た事等もあり大幅な減収となった。また、サービスの終了となった方の多くが、認知症の進行や病状の悪化等により在宅介護が困難となり施設入所となった方や、お亡くなりになった方で、要介護の利用者であったことが減収の大きな要因として考えられる。

現在、感染予防のためボランティアの来所も中止させていただくなど様々な面で活動を制限せざるを得ない状況となっているが、緊急事態宣言の解除後は、ボランティアの方々の活動推進や支援サービスの充実に努め、積極的に体験利用者の受け入れをし、新規利用者の獲得にも努めていきたい。

2 実績

(1) 介護日数

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	21	23	21	22	23	21	23	22	20	20	21	21	258

(2) 要介護度別登録者数及び利用者数

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
															月平均
事業対象者	実利用者数	6	7	7	7	8	8	7	7	8	8	8	4	7	85
	延利用者数	24	28	24	24	25	24	26	20	19	16	16	11	21	257
要支援1	実利用者数	20	20	20	20	20	20	20	20	18	18	17	20	19	233
	延利用者数	52	69	51	61	63	59	74	67	57	48	50	57	59	708
要支援2	実利用者数	30	30	29	29	30	30	30	30	27	27	26	23	28	341
	延利用者数	151	178	178	173	182	166	191	177	136	156	175	172	170	2,035
要介護度1	実利用者数	28	26	26	25	26	26	26	26	23	23	22	23	25	300
	延利用者数	242	253	242	254	261	226	263	246	206	202	209	192	233	2,796
要介護度2	実利用者数	19	19	21	21	21	21	22	22	18	18	16	15	19	233
	延利用者数	200	232	221	234	215	180	169	163	133	115	123	109	175	2,094
要介護度3	実利用者数	7	7	6	6	5	5	5	5	6	6	5	8	6	71
	延利用者数	71	56	54	49	61	78	110	108	88	82	70	81	76	908
要介護度4	実利用者数	6	6	8	8	9	9	9	9	9	9	9	6	8	97
	延利用者数	43	45	43	49	60	74	83	70	62	58	61	55	59	703
要介護度5	実利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	4	3	34
	延利用者数	21	26	26	26	27	35	39	28	21	20	14	28	26	311
平成31年度計	実利用者数	119	118	120	119	122	122	122	122	111	111	106	103	115	1,395
	延利用者数	804	887	839	870	894	842	955	879	722	697	718	705	817	9,812
平成30年度計	実利用者数	97	103	97	96	99	102	106	111	108	106	106	107	103	1,238
	延利用者数	801	906	864	809	882	855	923	882	844	790	833	923	859	10,312

3 生きデイ教室（総合事業）※毎週月曜日に開催

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
															月平均
平成31年度	実利用者数	41	42	43	35	34	36	35	34	36	37	35	36	37	444
	延利用者数	106	109	117	115	91	104	107	97	98	106	94	88	102	1,232
平成30年度	実利用者数	28	26	29	29	27	32	32	29	30	26	27	29	29	344
	延利用者数	100	101	111	103	84	92	115	101	109	94	93	106	101	1,209

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンターそれいゆ

1 総括

令和元年度は、実利用者数・延利用者数ともに前年度を上回ることができた。前年度と比べ、要支援2、要介護1・3・4の利用者が増加し、事業対象者、要支援1、要介護2・5の利用者は減少している。

新規の利用者数32名（要介護22名・要支援10名）で、中止の利用者数32名（要介護21名・要支援11名）となった。中止の理由としては、入院が一番多く、次いで施設入所・死去・他施設利用の順となっている。

また、6月に生活介護（共生型）の指定を受け、11月から利用が開始された。前日から泊まりサービス（自主事業）を利用され、引き続き翌日に生活介護を利用されている。

(1) 介護日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	30	31	30	31	30	30	31	30	28	28	29	31	359

(2) 要介護度別登録者数及び利用者数（延べ件数）

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
事業対象者	実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	延利用者数	5	5	5	5	4	4	5	4	4	5	5	4	4.5	55
要支援1	実利用者数	9	10	6	7	8	5	5	6	4	6	6	6	6.5	78
	延利用者数	34	38	26	28	29	22	24	25	17	24	23	28	26.5	318
要支援2	実利用者数	20	20	21	23	24	21	22	19	18	18	14	13	19.4	233
	延利用者数	145	155	144	183	168	168	166	152	136	130	99	97	145	1743
要介護度1	実利用者数	12	15	15	15	15	19	17	17	18	17	14	13	15.5	187
	延利用者数	124	172	159	192	174	183	197	183	201	182	161	164	174	2092
要介護度2	実利用者数	18	19	19	18	16	15	16	15	12	14	16	13	15.9	191
	延利用者数	204	211	205	206	186	169	190	167	127	145	174	148	178	2132
要介護度3	実利用者数	9	8	7	8	8	9	10	12	14	13	12	11	10	121
	延利用者数	86	86	74	89	80	90	108	123	120	145	119	114	103	1234
要介護度4	実利用者数	5	7	7	7	7	8	7	7	6	4	5	4	6.1	74
	延利用者数	53	64	72	68	67	78	72	66	51	29	46	38	58.6	704
要介護度5	実利用者数	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	2	2.4	29
	延利用者数	22	24	26	26	22	25	25	30	29	25	25	16	24.5	295
令和元年計	実利用者数	76	82	78	81	81	80	81	80	76	76	71	63	77	925
	延利用者数	673	755	711	797	730	739	787	750	685	685	652	609	714	8573
平成30年計	実利用者数	68	68	68	67	64	66	76	75	76	71	72	76	70.5	847
	延利用者数	652	693	642	650	597	635	751	713	630	602	645	665	656	7875

(3) 泊まり（自主事業）

()内の数字は要介護3以上

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	0	0	1	0	0	1	1	1	1	0	2	1	8
実利用者数	0	0	1(0)	0	0	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0	2(0)	1(0)	8(0)
延利用者数	0	0	1(0)	0	0	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0	2(0)	1(0)	8(0)

(4) 生活介護（共生型）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数			0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	5
延利用者数			0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	5

糸島市社会福祉協議会デイサービス「福寿苑」

1 総括

利用者数については、昨年度同様で変化はみられず実利用者数の減少はなかったが、新規の利用者は少なかった。

また、要介護者のみを対象とした通所事業所と福寿苑を併用する利用者が、認定の結果によって事業所が変更されるケースがあった。認知症のあった利用者は、短期間で事業所が変わり状況が理解できず認知症が進行する結果となり、施設入所となられたケースがあった。利用者本位の介護について改めて考える機会となった。

地域交流については積極的にサロンなどに関わりを持つよう努めた。9月には福吉地域の認知症カフェ「ふくよしみんなのカフェ」にスタッフと共に利用者も参加し、福寿苑の紹介や現状等の報告や演芸を披露した。大入サロンには毎月参加し、演芸などを通じ交流を深めることができた。次年度は福寿苑の利用者と大入サロン参加者との交流を計画をしている。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用者が楽しみにされていた行事や、毎月のスタッフ定例会、研修会及び運営推進会議も中止を余儀なくされとても残念な結果となった。令和2年度においても想定外の事態にも対応ができるよう、スタッフ一同今まで以上結束を固め状況を乗り越えていきたい。

2 実績

(1) 介護日数

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	26	28	26	27	26	25	28	27	25	24	25	25	312

(2) 要介護度別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
															延べ
事業対象者	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0
要支援1	実利用者数	2	2	2	2	2	1	1	2	2	3	3	4	26	2
	延べ利用者数	7	9	8	8	6	2	5	9	7	11	12	15	99	8
要支援2	実利用者数	0	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	18	2
	延べ利用者数	0	8	10	17	15	12	9	11	4	4	4	3	97	8
要介護度1	実利用者数	6	6	6	5	7	9	8	4	4	5	6	6	72	6
	延べ利用者数	69	69	66	66	73	86	75	34	34	52	68	75	767	64
要介護度2	実利用者数	6	6	6	6	6	6	5	6	7	6	6	6	72	6
	延べ利用者数	52	55	59	61	54	58	50	57	62	63	65	53	689	57
要介護度3	実利用者数	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	2	2	31	3
	延べ利用者数	39	41	43	55	58	56	53	56	55	46	43	41	586	49
要介護度4	実利用者数	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2	1	1	19	2
	延べ利用者数	28	26	16	15	13	14	28	28	26	22	14	17	247	21
要介護度5	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度 計	実利用者数	18	20	20	19	21	22	21	20	19	20	19	20	239	20
	延べ利用者数	195	208	202	222	219	228	220	197	188	198	206	204	2487	207
平成30年 計	実利用者数	21	20	22	20	16	16	18	17	15	16	18	17	216	18
	延べ利用者数	237	242	245	194	197	188	176	173	166	156	161	186	2321	193

糸島市社会福祉協議会ヘルパーステーション（障害居宅介護）

1 総括

令和元年度、利用者の年齢が65歳に達し、介護保険サービスに移行するケースが年々増加している。同行援護については、利用者数が増加しており年毎にサービス提供時間も増加している。現在、従事者の確保が課題になっている。

また、喀痰等吸引の有資格者12名の体制により多様なニーズに対応し、より安心・安全に支援ができるように努めた。

2 実績

（1）サービス内容別利用者数及びサービス提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数
身体介護 時間	94.5	72.6	89.5	49.5	55.0	43.4	53.7	60.9	55.5	58.7	67.4	69.0	769.7
生活援助 時間	223.5	227.5	221.2	235.5	219.5	230.5	238.3	228.7	238.0	236.5	239.1	251.5	2,789.8
移動支援 時間	0.0	19.0	18.0	18.3	18.3	25.3	25.9	22.0	16.3	21.0	20.0	0.0	204.1
行動援護 時間	11.3	12.2	9.4	14.1	12.4	12.4	8.3	4.3	7.3	12.6	11.3	14.4	130.0
同行援護 時間	69.1	89.6	89.1	66.0	68.3	68.1	73.2	78.0	70.3	65.4	71.2	75.2	883.5
重度訪問 時間	200.2	216.3	201.1	212.6	211.1	189.4	205.5	198.5	212.5	203.5	140.5	140.3	2,331.5
令和元年度計	598.6	637.2	628.3	596.0	584.6	569.1	604.9	592.4	599.9	597.7	549.5	550.4	7,108.6
平成30年度計	488.5	535.0	513.5	501.0	481.3	485.8	523.5	518.8	606.8	535.5	542.0	671.5	6,403.2

（2）障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分2	10	10	10	10	11	11	10	12	11	11	10	11	10.6	127
障害程度区分3	5	6	6	7	7	7	6	6	7	7	7	7	6.5	78
障害程度区分4	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	3	2	1.4	17
障害程度区分5	4	4	4	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3.3	40
障害程度区分6	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2.3	28
令和元年度計	23	24	24	24	24	25	23	24	24	25	25	25	24.2	290
平成30年度計	27	26	28	28	26	27	29	28	30	29	29	30	28.1	337

糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション（障害居宅介護）

1 総括

令和元年度は、マンパワー不足の問題もあり、積極的な利用者拡充はできなかった。

また、精神疾患のある利用者については、精神的に不安定になりやすい特性から、計画通りに継続して支援を行っていく難しさがあり、当初の計画と実際の支援に開きが見られている。そのため、昨年度比で利用者数・支援量共に減少してしまった結果となった。今後、マンパワー不足の解消に努め、安定的な支援量を確保していきたい。

2 実績

（1）サービス内容別サービス提供時間

単位：時間

支援内容/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数 (年)
身体介護	時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0
生活援助	時間	26.0	33.5	44.0	43.5	43.3	36.6	32.0	27.0	33.0	30.0	31.0	29.0	408.9
同行援護	時間	30.0	19.0	21.0	20.0	18.0	20.0	22.0	20.0	19.5	23.0	21.5	13.0	247.0
令和元年度 計		56.0	52.5	65.0	63.5	61.3	56.6	54.0	47.0	52.5	54.0	52.5	42.0	656.9
平成30年度 計		102.5	97.5	115.0	83.0	82.5	82.5	102.5	91.5	91.5	94.5	67.0	69.0	1079.0

（2）障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	11月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
障害程度区分2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2.3	28
障害程度区分3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	3.5	42
障害程度区分4	2	3	3	3	2	2	3	1	2	1	1	1	2.0	24
障害程度区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.1	1
障害程度区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
不明・区分なし その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
令和元年度 計	7	8	8	8	7	8	9	7	9	9	8	7	7.9	95
平成30年度 計	11	11	13	10	11	11	10	10	10	8	6	6	9.8	117

糸島市社会福祉協議会志摩ヘルパーステーション（障害居宅介護）

1 総括

令和元年度は、利用者が増加し、身体介護のサービス提供時間の倍増と生活援助も大幅な増加という結果になった。

また、支援区分では中度から中重度の方の利用があった。障がい種別においては、身体障がいの利用者は少なく、精神疾患のある利用者が7割で、生活する上での少しの困りことから、医療機関との連携が頻繁に必要な方もあり、対応には細心の注意を必要とするケースが多かった。障がいの理解と状況判断を的確にできるような、訪問介護員の育成が必要と実感した。

2 実績

(1) サービス内容別サービス提供時間

単位：時間

支援内容/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数 (年)
身体介護	時間	80	100	60	80	120	130	110	120	160	110	110	130	131.0
生活援助	時間	89.0	98.5	123.5	132.0	132.0	139.0	152.0	145.5	151.0	138.5	130.0	139.5	1570.5
同行援護	時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
令和元年度計		97.0	108.5	129.5	140.0	144.0	152.0	163.0	157.5	167.0	149.5	141.0	152.5	1701.5
平成30年度計		122.0	121.0	112.5	106.0	109.5	105.5	102.5	103.5	95.5	77.0	75.5	109.0	1239.5

(2) 障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
障害程度区分2	4	4	4	4	5	5	5	4	4	4	4	5	4.3	52
障害程度区分3	3	4	4	4	4	4	6	6	6	6	6	7	5.0	60
障害程度区分4	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2.1	25
障害程度区分5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	12
障害程度区分6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	12
令和元年度計	11	12	12	12	13	14	15	14	14	14	14	16	13.4	161
平成30年度計	14	13	14	13	13	12	13	13	13	12	10	11	10.5	126

基準該当生活介護サービス事業所（あごら）

1 総括

令和元年度の新規利用者はなく、利用者数としては2名減となったが、1名は介護保険への移行となり引き続きあごらデイを利用していただいている。もう1名はあごらから生活介護事業所ひまわりの利用へと移行された。

また、新型コロナウイルスの感染予防のために長期欠席をされた方が4名おられ、利用者数の減少となり減収へと繋がった。

利用者の状況として、昨年同様に30歳代と60歳代の利用者が多い状況である。今後も障がい相談担当者と連携し、スムーズなサービス移行を進めていくとともに、新規利用者獲得も積極的に行っていきたい。

2 実績

（1）障害程度区分別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数		
															月平均	延べ
障害程度区分1	実利用者数															
	延利用者数															
障害程度区分2	実利用者数															
	延利用者数															
障害程度区分3	実利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	35	
	延利用者数	16	15	17	15	15	16	18	17	14	14	14	11	15	182	
障害程度区分4	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
	延利用者数	26	26	26	26	27	24	28	25	24	24	26	25	26	307	
障害程度区分5	実利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	35	
	延利用者数	42	43	32	28	45	40	45	36	39	41	38	29	38	458	
障害程度区分6	実利用者数	6	7	7	6	6	6	5	5	5	5	5	5	6	68	
	延利用者数	54	65	61	52	57	53	50	59	42	39	47	46	52	625	
平成31年度計	実利用者数	14	15	15	14	14	14	13	13	13	13	13	11	14	162	
	延利用者数	138	149	136	121	144	133	141	137	119	120	125	111	131	1,574	
平成30年度計	実利用者数	15	15	16	16	16	16	16	16	16	16	15	14	16	187	
	延利用者数	134	153	153	143	159	151	160	135	146	142	132	151	147	1,759	

（2）利用者状況（障害区分、年齢）

単位：人

認定区分/月	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
身体障害	0	1	5	2	2	5	15
知的障害	0	0	0	0	0	0	0
精神障害	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1	5	2	2	5	15

（3）地域状況

単位：人

	前原地区	二丈地区	志摩地区	計
利用者数	15	0	0	15

障がい者生活介護事業所ひまわり

1 総括

令和元年度は新規利用者獲得のため、医療的ケア対象者の受入れや数年前に利用していた方に再度ご利用を提案するなどして少しずつ利用者数を増やしていった。特に3月は新型コロナウイルス感染症の影響により他の事業所が閉鎖や縮小をする中、通常営業を行い1ヶ月の延べ利用者数が180件まで増加した。

また、特別支援学校からの実習生が1名あった。令和2年度も積極的に実習生の受入をしながら、卒業後の進路として検討していただきたいと考えている。その為には、日中活動やりハビリ等にも力を入れていきたい。令和2年度は音楽療法の外部講師を招き実践していく予定である。

2 実績

(1) 障害程度区分別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
															月平均
障害程度区分1	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分2	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分3	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分4	実利用者数	1	1	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	37
	延利用者数	10	14	13	16	25	23	35	34	32	30	32	42	26	306
障害程度区分5	実利用者数	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	延利用者数	11	12	12	9	9	8	10	9	8	6	10	9	9	113
障害程度区分6	実利用者数	7	7	9	10	10	10	11	11	12	11	12	13	10	123
	延利用者数	68	65	66	88	80	78	90	83	108	104	105	129	89	1064
令和1年度計	実利用者数	10	10	13	14	14	14	16	16	17	16	17	18	15	175
	延利用者数	89	91	91	113	114	109	135	126	148	140	147	180	124	1483
平成30年度計	実利用者数	14	14	13	13	14	13	14	14	11	9	9	10	12	148
	延利用者数	132	142	144	141	145	119	133	104	84	78	74	89	115	1385

(2) 利用者状況（障害区分、年齢）

単位：人

認定区分/月	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
身体障害	0	5	4	1	2	0	12
知的障害	0	5	1	0	0	1	7
精神障害	0	0	0	0	0	0	0
計	0	10	5	1	2	1	19

(3) 地域状況

(単位：人)

	前原地区	二丈地区	志摩地区	福岡市西区	計
利用者数	8	1	9	1	19